

# 北海道議会時報

第25卷 第1号

特集 昭和47年第4回定例道議会



北海道議会事務局

北海道議会時報第25卷第1号(昭和47年第4回定例道議会)

(表紙写真説明)

### —特別天然記念物— タンチョウ

タンチョウは、南シベリアから北海道にかけて分布するツル科の鳥であり、昔、日本各地にも渡来し、その気品高い姿は日本人に長く親しまれてきたが、現在では、北海道釧路・根室地方の湿原地帯を中心に生息している。

タンチョウは、開けた翼長約200cm、体長約130cm、体重約7kgあり、のど、首及び風切羽の一部が黒いほかはほとんど純白で、特に頭頂に赤色の皮膚が裸出しているため、「丹頂」の名がつけられた。また、湿地に密生するアシを主体に、木の枝などで大きな巣を作り、4月から5月にかけて普通2個の卵をうみ、約1ヵ月抱卵して、黄褐色のひながかえる。食物は、ドジョウ、小魚等の動物質やセリなどの水草類あるいは雑草の芽や実、トウモロコシ、ソバ等の雑穀などを雑食する。

北海道でも、明治末期から大正初めにかけて、乱獲などにより絶滅したものと考えられていたが、大正13年に、北海道庁の猟政官により釧路地方の湿原に1数羽の生息が確認され、生息地の一部が禁猟区に指定され、その後、昭和10年に天然記念物となり、更に昭和27年には釧路タンチョウ及びその繁殖地が特別天然記念物に、昭和42年にはタンチョウは地域を定めず特別天然記念物に指定された。また、昭和39年には「北海道鳥」に指定されている。

道教育委員会では、昭和27年から毎年生息調査を行なっているが、調査当初にはわずか33羽を確認したのみであったが、その後、民間に依頼して人工給餌を始めたことなどにより年々生息数が増え、昭和47年の調査では222羽と最高の生息数が確認された。また、生息地区も徐々に広がる傾向を見せている。

(写真提供 一道生活環境部自然保護課)



## 林 謙 二 議 員 逝 去

議員林謙二氏（道政ク）は、11月20日午前8時5分、脳内出血のため、旭川市立病院において逝去され、同月23日、旭川大学高等学校女子部体育館において告別式がとり行なわれた。行年62歳。

なお、12月13日、第4回定例会本会議において、笠井幸衛議員（社会）により追悼演説があり、ついで、1分間の黙祷が捧げられた。

### 追 悼 演 説

私は、林謙二君の御逝去に際し、ここに謹んで哀悼のことばを申し述べたいと存じます。

林謙二君におかれては、さる11月18日夜突然病に倒れ、翌19日旭川市立病院に入院、御家族の手厚い看護のもと専心治療に努められたのでありますが、容態急変し、20日午後8時5分長逝せられたのであります。

まことに、痛恨哀惜の念にたえない次第であります。

林君は、私ども議員の先輩として、昭和34年以来、7期21年の長きにわたり道政発展のため尽瘁せられたのであります。

顧みますると、林謙二君は、大正14年元東旭川町旭川第一尋常高等小学校高等科を卒業後、家業の畜産業に従事されておられたのでありますが、昭和16年請われて前野造林部支配人として迎えられ、その手腕が認められて前野木材株式会社専務取締役として社業の中核として重きをなし、敏腕をふるわれたのでありますが、一方、旭川白鳩学園長として女子教育に献身されたほか、旭川女子高等学校PTA会長、北海道中央高等理容美容学校校長、旭川日本大学高等学校PTA会長、北日本学院大学後援会長等、各種学校、大学のPTA会長、後援会長、評議員等をつとめられ、また、野村製菓株式会社監査役、矢野木材株式会社取締役、北星林業株式会社取締役等、学校教育はもとより、産業振興にも尽力するところ多大なものがあったのであります。

その間、昭和24年には新憲法に基づく地方自治体の選良として郷党の熱望もだしがたく、道議会議員の選挙に立候補され、衆望を担い、みごと当選されたのでありますが、爾来、天賦の才能と情熱のうちに、毅然たる信念、また、豊富な識見と非凡なる政治手腕が高く評価され、推されて文教委員長、予算特別委員長に選任されたのはじめ、ほとんどの常任委員会の委員を歴任し、また、その学識経験により監査委員、社会教育委員、都市計画審議会委員、身体障害者福祉審議会委員等数多くの公職につかれ、政党人としては、昭和30年には自由民主党道連政務調査会長、幹事長として党務に挺身されたのでありまして、現在は、道政クラブの議員会長として、専心道政進展のため寝食を忘れて活躍せられたのであります。

この間、地方自治功労者として全国都道府県議会議長会表彰3回、道議会開設60年及び70年記念表彰をはじめ、さる11月には20余年にわたる偉大な業績が認められて、藍綬褒章の榮に浴されるなど、名実ともに北海道議会の元老として尊敬されてきたところでありまして、残された数多くの功績の一つ一つが私達の胸中に深く刻み込まれ、明るく住みよい魅力あふれる北海道建設への努力をされていた姿は、忘れることができません。

特に、林謙二君は、御承知のとおり、北海道の次代を背負う青少年の教育に熱心な活躍をせられ、文教委員として昭和34年以来今日まで、一貫して教育行政の確立のため粉骨砕心されましたことは、全国の議会史上例のないことでありまして、その造詣の深さは衆目の認めるところであります。

同君はまた、豪毅果斷の性をもたれ、あるときは一人孤高を持して自ら信ずるところ堅く、妥協を知らな



いような趣きさえ見受けられたのでありますが、その反面、細やかな配慮と深い思いやりを示されるとともに、こよなく自然と人生を楽しまれた方でありまして、道政クラブの議員各位はもとより、他会派議員よりきびしい先輩であり、心から敬慕されておられたのであります。

本道は、いま第3期総合開発計画の推進等の重大な時期に入ろうとしているとき、地元旭川市発展のため近くは国立旭川医科大学の誘致に奔走されるとともに、責任感のきわめて旺盛な同君は、疲労の色を隠しながらも、過般の道と道議会並びに経済界からなる北方圏視察団として、アラスカ、カナダ等を議会代表として積極的に参加され、理想郷北海道建設のため、懸命の努力をせられたのでありますが、帰国後も体の変調を訴えられながらも変らぬ活動を続けられ、同君の該博なる識見と卓抜せる手腕に期待するものがまことに多いときに、62歳を一期に長逝せられましたことは、道政上はかりしれない損失であり、まことに痛惜にたえないところでありまして、衷心から哀悼の至情をささげるものであります。

ここに、謹んで林謙二君の御功績を重ねてたたえ、心から御冥福をお祈りし、追悼のことばといたします。

## 第4回定例道議会

概	要	1	
本	会	議	3
意	見	書	19
請	願・陳	情	8

## 委員会の動き

議会運営委員会	20
常任委員会	23
特別委員会	28
総合開発調査特別委員会	
石炭対策特別委員会	
北方領土対策特別委員会	
公害対策特別委員会	
予算特別委員会	
企業会計決算特別委員会	

## 資 料

第33回衆議院議員総選挙結果	36
第4回定例道議会において議決を経た 条例の公布調	50

## 12月のメモ

# 議 会 日 誌

## ▶12月

- 2日 厚生、文教林務各委員会  
5日 建設委員会  
6日 議会運営委員会  
12日 議会運営、各常任（建設を除く）、石炭  
対策特別、北方領土対策特別各委員会  
13日 議会運営、文教林務各委員会  
本会議（会期決定、提案説明、教職員給  
与案件先議可決）  
14日 企業会計決算特別委員会  
15日 議会運営委員会  
本会議（代表質問（1人））  
16日 議会運営、総務各委員会  
本会議（追加提案説明、代表質問（3人）、  
一般質問（1人））  
18日 議会運営委員会  
本会議（一般質問（6人）、予算特別委設

置）

予算特別委員会（正副委員長互選）

19日 } 予算特別委員会（各部所管審議）

20日 } 企業会計決算特別委員会

21日 総務、厚生、商工労働、農務、農地開拓、  
水産各委員会

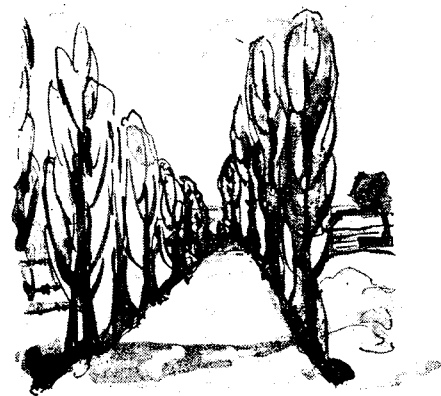
予算特別委員会（各部所管審議）

22日 議会運営、総務、建設、文教林務、総合  
開発調査特別、石炭対策特別、公害対策  
特別各委員会

予算特別委員会（総括質疑、意見調整）

本会議（選管委員及び補充員選挙、各委  
員長報告、議案等可決、企業会計  
決算認定、決算特別委設置、意見  
案第1号可決、閉会）

決算特別委員会（正副委員長互選）



# 第4回定例道議会

## 土地開発公社設立をめぐる論議

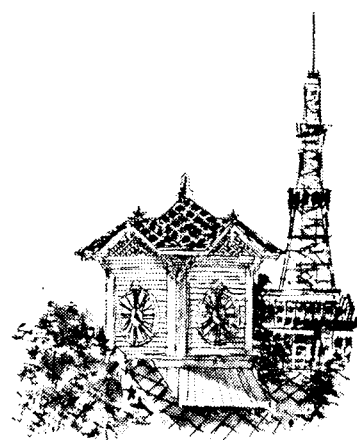
### ▶ モーター規制関係条例案可決 ◀

#### 概 要

- ① 本年の道政を締めくくる第4回定例道議会は、12月13日招集され、開会冒頭、さる11月20日逝去された林謙二議員（旭川市選出）に対する追悼演説及び黙祷が行なわれた後、会期を12月20日までの10日間に決定。ついで、昭和47年度補正予算及びこれに関連する議案等34件が上程され、提案説明の後、学校職員給与改定関係条例案を先議することとし、直ちに文教林務委員会に付託して一たん休会、再開後、先議案件を可決して、議案調査のため翌14日1日間休会した。
- ② 休会明けの12月15日から代表質問に入ったが、トップに質問中の諏訪田議員が体調を崩したため一たん中断、質問順位を変更して代表質問を続行、翌16日には、11億円余の災害関連補正予算を上程、提案説明の後、更に代表質問を続行、ついで一般質問に入り、18日には、質問を終結して、21人からなる予算特別委員会を設置のうえ、議案の各委員会付託を行ない、各委員会議案審査のため、12月19日から21日まで3日間休会した。
- ③ 代表質問及び一般質問において論議の中心となった問題は、昭和48年度道財政の見通し、北海道開発庁統合構想、土地開発公社に関する諸問題、市町村財政の充実強化、乳幼児・重度心身障害者の医療費無料化、地域別農業指標、農村環境整備及び農家負債整理等農業問題、小・中・高校及び特殊学校、幼稚園の施設整備及び高校間口増計画、私学振興策、芸術大学、研究学園都市の建設及び国連大学の誘致、苫東工業基地関連用地取得の一時中止、民間団地造成の基準設定、食糧品・木材・灯油等物価問題、中小企業特別融資制度創設、停電被害救済措置と全道的恒久対策、広域的水利用計画策定、労働福祉対策及び職業訓練の充実、内陸部開発問題、閉山地域再開発、石炭専焼火発建設、農業公害に関する試験研究、違反漁船取締り等が主に取りあげられた。
- ④ 予算特別委員会は、12月18日に正副委員長の互選を行ない、翌19日から47年度補正予算等に対する各部所管の審議に入り、22日、知事に対する総括質疑を行ない、同日、質疑を終結して、採決の結果、8項目の意見を付して原案のとおり可決することに決定した。
- ⑤ 本会議最終日の12月22日は、まず、選挙管理委員及び同補充員の選挙を行ない、ついで、昭和47年度補正予算等に対する予算特別委員長報告の後、いずれも原案可決又は承認議決。次に、各常任、特別委員会付託議案について各委員長報告の後、議案第28号（財団法人北海道開発用地公社の北海道土地開発公社への組織変更に関する件）について討論、採決の結果、原案可決、他の案件はいずれも原案可決又は承認議決と決定。次に、前会から継続審査の昭和46年度企業会計決算について企業会計決算特別委員長報告の後、いずれも認定議決又は意見を付し認定議決と決定。ついで、昭和46年度各会計決算ほか1件を上程、提案説明の後、46年度決算について27人からなる決算特別委員会を設置、付託のうえ、閉会中継続審査と決定し、特別職職員退職手当案件について即決。次に、「灯油価格安定対策樹立に関する要望意見案」を可決の後、閉会申請願、陳情継続審査及び事務調査の件を議決して、今期定例会に付議された案件は報告第5号を除きすべて議了。議長から閉会のあいさつがあって、開会以来10日目の12月22日深更閉会した。
- ⑥ 提出案件の処理状況は、次のとおりである。

提出者	提出件数	議 決 の 状 況					計
		原案可決	承認議決	認定議決	閉会中 継続審査	報告のみ	
知事	41	34	2	7	1	4	48
議員	1	1	—	—	—	—	1
計	42	35	2	7	1	4	49

注 提出件数と議決件数が符合しないのは、閉会中継続審査案件7件があったためである。





# 本 会 議

○12月13日 午後零時  
5分開議、杉本栄一  
議長、昭和47年第4  
回定例会の開会を宣  
し、引き続き開議、  
日程第1会議録署名  
議員の指定を行な  
い、諸般の報告の後、  
議長から、林謙二議  
員（道政ク）がさる  
11月20日逝去された  
旨を報告。ついで、  
笠井幸衛議員（社会）  
から追悼演説の後、  
全員起立のうえ1分  
間の黙祷を行なった。



追 悼 演 説

ついで、日程第2会期決定の件を議題とし、今期定例会の会期を12月13日から22日までの10日間と決定、

次に、日程第3総合開発調査特別委員補欠選任の件を議題とし、異議なく津川直一議員（道政ク）を補欠選任することに決定。

次に、日程第4議案第1号ないし第32号、報告第1号

及び第2号を議題とし、知事から提案説明の後、日程第4のうち、議案第22号（北海道学校職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案）及び議案第23号（市町村立学校職員給与負担法に規定する学校職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案）を先議することとし、直ちに文教林務委員会に付託することに決定。議事進行の都合により午後零時32分休憩、午後4時6分再開。諸般の報告の後、日程に追加し、議案第22号及び第23号を議題とし、青木力文教林務委員長（社会）から委員会における審査の経過及び結果について報告の後、異議なくいずれも委員長報告のとおり原案可決。ついで、議案調査のための休会についてはかり、12月14日1日間を休会とすることに決定して、午後4時11分散会。

## 知 事 説 明 要 旨

ただいま議題となりました昭和47年度補正予算案並びにその他の案件について、その大要を御説明申し上げます。

まず、議案第1号ないし議案第12号の補正予算案につきましては、事業の確定などに伴う補正その他当面措置を要する経費について補正しようとするものでありまして、

その予算の総額は、

一般会計	59億2,500万円
特別会計	3億8,300万円
合計	63億 800万円

## 第 4 回 定 例 道 議 会 に 知 事 から 提 出 の あ っ た 案 件

### 議 案

提出月日	番号	件 名	議決月日	議事結果
12. 13	1	昭和47年度北海道一般会計補正予算（第8号）	12. 22	原案可決
同	2	昭和47年度北海道札幌医科大学附属病院特別会計補正予算（第3号）	同	同
同	3	昭和47年度北海道中小企業近代化資金貸付事業特別会計補正予算（第1号）	同	同
同	4	昭和47年度北海道真駒内大麻団地開発事業特別会計補正予算（第3号）	同	同
同	5	昭和47年度北海道地方競馬特別会計補正予算（第5号）	同	同
同	6	昭和47年度北海道病院事業会計補正予算（第3号）	同	同
同	7	昭和47年度北海道有野事業会計補正予算（第4号）	同	同
同	8	昭和47年度北海道北広島団地開発事業会計補正予算（第3号）	同	同
同	9	昭和47年度北海道工業団地開発事業会計補正予算（第2号）	同	同
同	10	昭和47年度北海道電気事業会計補正予算（第2号）	同	同
同	11	昭和47年度北海道工業用水道事業会計補正予算（第3号）	同	同
同	12	昭和47年度北海道有料道路事業会計補正予算（第2号）	同	同
同	13	北海道恩給並びに他の地方公共団体の退職年金及び退職一時金の基礎となるべき在職期間と職員退職料及び退職給与金の基礎となるべき在職期間との通算に関する条例等の一部を改正する条例案	同	同

となるのであります。

一般会計のうち、歳出の主なものといたしましては、

老人医療費の無料化について、所得制限の緩和による対象人員の増加医療の増高等に伴い所要の措置を講ずるため

老人医療給付事業費 8億5,400万円を、

本年10月より慢性腎不全及び後天性心臓疾患の身体障害児童に対しても新たに育成医療給付を実施するとともに、精神障害者、結核患者などに対する医療給付の増加に対処するため、

各種医療給付費 6億4,200万円を、

65歳以上の老人の白内障の開眼手術に対して新たに助成措置を講ずるため、

老人性白内障開眼手術費補助金 500万円を、

ベーチェット病、全身性エリテマトーデスなどの特殊疾病の患者に対しても医療費の自己負担の軽減を図るため、

特殊疾病対策費 200万円

を計上するとともに、

北海道域における貝類などの重金属蓄積状況を把握するため、

重金属蓄積調査費 300万円

を計上したほか、

過疎地域における地方バス路線の運行を維持するため、

過疎地域等交通確保対策費 1億4,200万円

を計上いたしました。

また、札幌オリンピック冬季大会を契機として道民が冬

に親しみ、体力の増進に資するため、

冬季道民スポーツ大会開催費 1,400万円を、

北方圏とのスポーツ交歓を行なうため、

北海道・カナダスポーツ交歓競技大会補助金 500万円

を計上するとともに、

交通事故の防止、歳末警戒及び重要事件の捜査等に要する経費として、

交通事故防止対策費 5,000万円

重要事件捜査費 1,200万円

歳末警戒取締費 400万円

交通指導取締費 200万円

を計上したほか、

行政処分講習会費 1,300万円

を計上いたしました。

また、北海道開発用地公社を改組し、本道における公有地拡大の計画的な推進を図るため、

北海道土地開発公社（仮称）出資金 9,500万円

を計上するとともに、

昭和46年度決算の確定に伴い、

財政調整基金積立金 4億4,300万円

を計上したほか、

事業の確定などに伴い、

公共用地確保対策費 13億2,300万円

自動車取得税市町村交付金 7億 800万円

提出月日	番号	件名	議決月日	議事結果
12. 13	14	北海道工業団地開発事業条例の一部を改正する条例案	12. 22	原案可決
同	15	北海道公害紛争処理条例の一部を改正する条例案	同	同
同	16	北海道保母修学資金貸付条例の一部を改正する条例案	同	同
同	17	北海道立看護学院条例の一部を改正する条例案	同	同
同	18	北海道工鉱業開発促進条例の一部を改正する条例案	同	同
同	19	国営土地改良事業負担金徴収条例の一部を改正する条例案	同	同
同	20	北海道立学校設置条例の一部を改正する条例案	同	同
同	21	北海道公立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例等の一部を改正する条例案	同	同
同	22	北海道学校職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	12. 13	同
同	23	市町村立学校職員の給与負担法に規定する学校職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	同	同
同	24	風俗営業等取締法施行条例の一部を改正する条例案	12. 22	同
同	25	漁業協同組合の整備促進助成等に関する条例を廃止する等の条例案	同	同
同	26	北海道土地開発公社（仮称）に対する出資の件	同	同
同	27	北海道苫小牧公害防止センター（仮称）建設事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	同	同

土地購入費	4億4,700万円
農業共済促進指導費	2億 500万円
野菜生産流通対策費	8,700万円
米生産調整推進事業費	6,900万円
開拓農協再編整理事業費	4,000万円
私立高等学校管理運営対策費	2,900万円
農業構造改善事業費	2,400万円
農地防災事業費	2,200万円
苫小牧港管理組合負担金	1,500万円
国直轄道路事業費負担金	1,400万円
工鉱業誘致助成費	1,300万円
商工会館建設費補助金	1,000万円
市町村管理港湾改修事業費補助金	900万円
総合食料品小売センター設置費	500万円
ウタリ福祉事業費補助金	100万円

を計上いたしました。

また、災害復旧関係経費として、

耕地災害復旧費	6億8,500万円
土木災害復旧費	4億5,200万円
災害関連事業費	3億3,700万円
国直轄災害復旧事業費負担金	1億6,800万円
林道災害復旧費	6,800万円
港湾災害復旧費	5,600万円

をそれぞれ追加計上するとともに、

病院事業会計において企業債を追加計上したことなどに  
伴い、一般会計において、

病院事業会計負担金	1億1,800万円
-----------	-----------

を減額したほか、事業の確定などに伴い、

都市計画街路事業費	1億7,900万円
災害金融対策費	1億4,500万円
農業近代化資金融通対策費	1億2,700万円
営農振興対策費	9,400万円
一般向公営住宅建設費	6,900万円
麦生産対策費	4,900万円
警察庁舎建築費	4,900万円
てん菜生産促進事業費	4,600万円

を減額いたしました。

これらに見合う歳入の主なものといたしましては、

道 税	30億7,900万円
国庫支出金	15億5,900万円
財産収入	13億3,000万円
繰越金	8億7,500万円
諸収入	5億5,000万円

を追加計上いたしますとともに、道債につきましては、こ

れまでの実績等にかんがみ、15億7,600万円

を減額いたしました次第であります。

次に、特別会計の主なものといたしましては、

地方競馬特別会計において、一般会計繰出金を含め、  
4億1,300万円

を計上したほか、

工業団地開発事業会計において、苫小牧東部地区住宅用  
地取得事業を行なうため、15億2,700万円

を計上するとともに、

債務負担行為	35億円
--------	------

提出月日	番号	件 名	議決月日	議事結果
12. 13	28	財団法人北海道開発用地公社の北海道土地開発公社（仮称）への組織変更に関する件	12. 22	原案可決
同	29	北海道道の路線の認定及び廃止に関する件	同	同
同	30	河川法に基づく一級河川の指定等についての意見に関する件	同	同
同	31	財産の処分に関する件	同	同
同	32	財産の処分に関する件	同	同
12. 16	33	昭和47年度北海道一般会計補正予算（第9号）	同	同
12. 22	34	特別職職員の退職手当の額を定める件	同	同

## 報 告

提出月日	番号	件 名	議決月日	議事結果
12. 13	1	専決処分報告につき承認を求める件（昭和47年度北海道補正予算11月14日専決処分）	12. 22	承認議決
同	2	専決処分報告につき承認を求める件（工事請負契約の締結（小樽市道営高層公営住宅新築工事（若竹団地））に関する件11月22日専決処分）	同	同
同	3	昭和47年度北海道地方競馬特別会計に係る弾力条項の適用報告の件		報告のみ

の措置を講ずることといたしました。

次に、附属議案の主なものについて、その概要を御説明申し上げます。

議案第14号の北海道工業団地開発事業条例の一部を改正する条例案は、苫小牧東部における工業団地開発事業の経営規模を拡大しようとするものであり、

議案第15号の北海道公害紛争処理条例の一部を改正する条例案は、公害紛争処理法の改正に伴い、公害の紛争に係る調停の手続への参加の申立てをする者が納めるべき手数料に関し、必要な事項を定めようとするものであり、

議案第17号の北海道立看護学院条例の一部を改正する条例案は、新たに旭川市及び釧路市に道立高等看護学院を設置しようとするものであり、

議案第18号の北海道工業鉱業開発促進条例の一部を改正する条例案は、工業再配置促進法に基づく誘導地域が定められたことに伴い、当該地域における工業の開発促進に資するために必要な課税免除を行なうとともに、産炭地域振興臨時措置法の改正に伴い、産炭地区に係る助成の措置を課税免除に改めようとするものであり、

議案第19号の国営土地改良事業負担金徴収条例の一部を改正する条例案は、土地改良法施行令の改正に伴い、国営土地改良事業の負担率を改訂しようとするものであり、

議案第20号の北海道立学校設置条例の一部を改正する条例案は、新たに千歳市に北海道北陽高等学校を設置し、及び北海道下川高等学校の名称を変更しようとするものであり、

議案第22号及び議案第23号の学校職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案は、北海道人事委員会の議会及び知事に対する昭和47年10月28日付け勧告にかんがみ、北海道学校職員等の給料月額を改定し、扶養手当及び通勤手当の額を改定し、並びに住居手当の支給方法を改正しよう

とするものであり、

議案第24号の風俗営業等取締法施行条例の一部を改正する条例案は、風俗営業等取締法の改正に伴い、モーテル営業を営むことができない地域を定めようとするものであり、

議案第26号の北海道土地開発公社（仮称）に対する出資の件は、本道における公有地の計画的な拡大を図るため、北海道土地開発公社（仮称）に対し、出資しようとするものであり、

議案第28号の財団法人北海道開発用地公社の北海道土地開発公社（仮称）への組織変更に関する件は、公有地の拡大の推進に関する法律附則第2条第1項の規定に基づき、財団法人北海道開発用地公社が北海道土地開発公社（仮称）に組織を変更することについて、同法同条第2項の規定により、議決を得ようとするものであり、

議案第29号の北海道道の路線の認定及び廃止に関する件は、本道の開発のため必要と認める道路を道道に認定し、これにより重複することになる従来の路線を廃止するために、道路法第7条第2項及び第10条第3項の規定により、議決を得ようとするものであり、

議案第31号及び議案第32号の財産の処分に関する件は、一般国道5号線札幌新道及び一般国道33号線室蘭新道用地先行取得事業により取得した土地について、これを国に売却することとし、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例の規定により、議決を得ようとするものであります。

よろしく御審議のほどをお願い申し上げます。

○12月15日 午前11時14分開議、諸般の報告の後、日程第1議案第1号ないし第21号、第24号ないし第32号、報告第1号及び第2号を議題とし、代表質問に入り、諏訪

提出月日	番号	件名	議決月日	議事結果
12. 13	4	専決処分報告の件（損害賠償の額の決定11月24日1件、11月27日1件、12月28日10件、11月30日3件、12月1日2件、12月2日1件、12月5日6件、12月8日1件、12月9日1件専決処分）		報告のみ
12. 12	5	昭和46年度北海道各会計歳入歳出決算に関する件	12. 22	継続審査
同	6	昭和46年度北海道市町村振興基金の運用に関する件		報告のみ
同	7	昭和46年度北海道土地開発基金の運用に関する件		同

## 議員から提出のあった案件

### 意見案

提出月日	番号	件名	提出者	議決月日	議事結果
12. 22	1	灯油価格安定対策樹立に関する要望意見書	亀井忠衛君ほか12名	12. 22	原案可決

田勝衛議員（社会）の質問中、質問者事故のため午前11時29分休憩、午後1時45分再開。都合により代表質問の順位を変更し、



作田 政次議員（自民）から、①日本列島改造論と北海道総合開発に関し、北海道開発庁統合構想に対する知事の決意、土地開発公社の事業内容

と運営方針及び行政との調整、広域的水利用計画策定の見解、道東地域における大規模、計画的観光開発、生活安定・産業活動・交通確保のための雪害防止体制の整備充実、道北地域の送配電施設の整備と保安管理の徹底及び緊急時電力供給体制の強化並びに多目的ダムの設置、災害時の中小企業向け特別融資制度の創設、②社会福祉対策に関し、医療技術従事者の待遇改善と研修の実施及び養成センターとしての衛生大学の設置、公的病院への財政援助、育児手当に対する助成、老人医療費無料化に伴う国保財政への助成、③物価問題に関し、卸売市場の指導と助成、市場取引の合理化並びに小売市場の整備促進、一時性多獲魚の供給及び価格の安定、野菜価格安定制度の創設と集出荷貯蔵施設の整備、木材価格安定対策としての短期的需給安定対策と道有林経営の弾力的運営、北洋材安定輸入のための輸入港湾の整備と陸揚げ基地の増設、④市町村財政に関し、市町村財政の充実強化に対する基本的見解、地方交付税率の引上げ、地

方債償還金元利に対する財源措置、総合助成資金の増額、道、市町村間の事務配分及び経費負担の再検討、

- ⑤農業問題に関し、農村環境整備に対する基本的見解、農家負債整理の具体策、
- ⑥学校施設の整備促進に関し、木造老朽小中学校の施設整備計画、学校体育施設の現状と整備計画、私立高校振興方策、私学経営健全化のための長期経営改善計画の確立、
- ⑦国連大学の誘致及び研究学園都市の建設等について

質問があり、知事及び教育長から答弁があって、午後3時42分延会。

○12月16日 午前11時18分開議、諸般の報告の後、日程第1議案第33号を議題とし、知事から提案説明の後、日程第1にあわせ、日程第2議案第1号ないし第21号、第24号ないし第32号、報告第1号及び第2号を一括議題とし、代表質問を続行、



本間 喜代人議員（共産）から、①鹿沼農場問題に対する現時点での理解程度と3定知事答弁に対する見解、

②発電所建設に関し、伊達、岩内関係住民の他府県調査費の北電全額負担と電気事業会計規則及び経済関係罰則ノ整備ニ関スル法律との関連に対する見解、宗谷地方における発電所建設に対する北電への要請内容及び道北地方の停電による被害者救済措置の検討、

### 前会から継続審査中の案件

#### 報 告

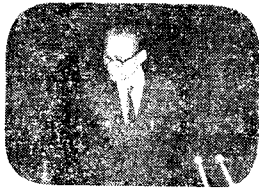
提出月日	番号	件 名	議決月日	議事結果
9. 30	1	昭和46年度北海道病院事業会計決算に関する件	12. 22	認定議決
同	2	昭和46年度北海道有林野事業会計決算に関する件	同	同
同	3	昭和46年度北海道北広島閉地開発事業会計決算に関する件	同	意見を付し認定議決
同	4	昭和46年度北海道電気事業会計決算に関する件	同	認定議決
同	5	昭和46年度北海道工業用水道事業会計決算に関する件	同	意見を付し認定議決
同	6	昭和46年度北海道有料道路事業会計決算に関する件	同	認定議決
同	7	昭和46年度北海道工業団地開発事業会計決算に関する件	同	同

③苫小牧東部工業基地関連住宅用地取得に関し、土地投機の規制方法確立まで買取中止の考え、昭和48年度住宅対策構想、工業基地開発と福祉政策推進の関連、

④福祉問題に関し、老人医療費無料化国庫支出に伴う内容の充実及び乳幼児医療費無料化のための準備程度、

⑤教育問題に関し、不当配転の早期解決、教職員人事異動に関する意思疎通及び新機関設置並びに住宅等物的条件の整備、教職員定数充足率の拡大、公立高等学校図書費の別枠考慮、高校間口増に関する長期・短期計画の具体化等について

質問があり、知事及び教育長から答弁、本間議員から再質問（2回）、知事から答弁。会議規則第57条ただし書の規定により発言許可の後、本間議員から発言、知事から答弁があって、議事進行の都合により午後零時57分休憩、午後1時44分再開、ついて、



津川 直一議員（道政ク）から、①列島改造論と3期計画との関連に関し、土地利用計画における住民自治の尊重、環境保全のための工業誘致選

抜審議会設置の意思、本道進出希望企業の実態、

②社会福祉問題に関し、作業療法士等施設補助金返上の事実の有無と理由並びに明48年度の方針、低額な高齢年金補完のための寒地生活費補助に対する見解、

③中小企業向け公害防止基金増額の見通しと技術指導体制の整備、

④農業問題に関し、地域別農業指標に対する見解及び施策の計画前半期における実施並びに総合的施策の推進、農地の二次改良における地方負担増の阻止、ライスセンターに対する個別的施策の実施、抜本的負債整理対策による農家の自立決意と整理対策打切り等について

質問があり、知事から答弁。ついて、



諏訪田 勝衛議員（社

会）から、①昭和48年度予算編成に関し、予算の効率的運用に対する見解、48年度道財政の見通し及び健全財政確保の対

策、産業開発の一時ダウンによる福祉施策の充実、

②開地造成に関し、民間の開地造成における社

## 請 願 ・ 陳 情

①第4回定例道議会において、各常任・特別委員会に付託された請願・陳情は、次のとおりである。

### 請 願

文書表号	件 名	請 願 者	付託委員会	審 査 の 果 結
181	付加価値税新設反対の件（ほか21件）	北海道中小企業家同友会 井上良次	総 務	継続審査
182	総合病院浦河赤十字病院を地域センター病院に指定の件	日高町長 渡辺 巖ほか8人	厚 生	同
183	叶橋架換の件	常呂郡訓子府町東町 安全な叶橋をつくる会 米谷道保	建 設	同
184	付加価値税新設反対の件	北海道消費者団体連絡会 三宅安雄	総 務	同
185	灯油の卸価格値上げ反対の件	同	同	同
186	100トン以上大型いかつり漁船の操業縮小規制の件	森町字上台町 高橋四三男ほか29人	水 産	同
187	教員定数増とそれにとまう教育予算増加の件	北海道教育大学長 船山謙次	文教林務	同
188	北海道網走南ヶ丘高等学校校舎改築の件	北海道網走南ヶ丘高等学校校舎全 面改築期成会 島田光ほか5人	同	同



- 会生活基盤整備のための規制及び基準設定、田地間格差及び既存市街地との格差解消方策、
- ③国土開発庁構想に関し、北海道開発庁存置要請の意図、開発行政のあり方と自治体の権限に対する見解、
- ④農業問題に関し、稲作転換に関わる農民不安並びに畑作共済、価格補償及び農産物自由化に対する見解、離農あと速買上げによる大型農業及び寒地農業の確立、農家負債整理の抜本策及び農業金融の抜本的条件緩和、
- ⑤大雪山縦貫道路に関し、産業道路としてのメリット及び建設延期の考え、
- ⑥暴風雪災害に関し、関係機関との意思疎通及び道民への周知、道北地方の停電の原因及び復旧遅延の理由並びに被害対策と全道的恒久対策、
- ⑦福祉対策に関し、老人医療費国庫負担に伴う道としての内容充実の意思、乳幼児医療費無料化の実施時期及び内容、主婦の無料定期健康診断の実施、重度心身障害者の医療費無料化と福祉年金制度の創設、
- ⑧物価問題に関し、物価高騰のすう勢に対する

- 対処方針、物価上昇阻止の決意、道関係の手数料等の値上げ阻止、
- ⑨教育・文化問題に関し、学習指導要領の改正と次官通達の浸透、教育課程自主編成運動の奨励と合同研究会の成果取入れの見解、心身障害児の低就学率に対する見解と施設拡充対策、在宅障害児訪問指導の充実強化、特殊学校整備計画及び財政措置、幼稚園設置計画達成の具体策及び財政措置、父母負担増大阻止策と職員待遇改善に対する見解、北海道芸術大学設立の見解等について

質問があり、知事及び教育長から答弁。引き続き、一般質問に入り、

- 笹井 望議員（自民）から、①労働福祉対策に関し、勤労者の余暇活用・休養施設の現状把握と今後の対処方針、勤労青少年ホームの都市多目的ビル内設置に対する制度改善の考え、企業内託児施設充実計画と所信、
- ②職業訓練に関し、高卒者受入れ体制の整備、専修訓練校の昇格と科目の再編成、技能尊重の社会風潮醸成と技能士登録制度の創設、事業内訓練の充実と訓練生の定着策等について

文書表番	件名	請願者	付託委員会	審査の結果
189	北海道深川東高等学校校舎改築の件	北海道深川東高等学校 PT会長 佐伯一郎ほか2人	文教林務	継続審査
190	北海道札幌東高等学校校舎改築の件	北海道札幌東高等学校校舎改築期 成会 会長 松宮利市	同	同
191	北海道広尾高等学校屋内体育館新築の件	広尾町長 村上琢夫ほか2人	同	同
192	水産加工場の排水汚水対策の件	茅部郡森町字港町65 坂田敏昭ほか10人	厚生	同
193	水産加工場の排水汚水対策の件	同	建設	同
194	水産加工廃水によるのり網被害対策の件	茅部郡森町本町西部 杉浦義春ほか10人	同	同
195	水産加工廃水によるのり網被害対策の件	同	水産	同
196	羊蹄山周遊サイクリングコース早期新設の件	ニセコ羊蹄周辺観光開発協会 会長 福島新太郎ほか8人	建設	同
197	国土開発幹線自動車道路の路線変更の件	江別地区労働組合協議会 議長 橋本武彦ほか1人	同	同
198	北海道自然保護条例改正の件	札幌周辺自然保護緑化懇話会 今川敬一	総務	同
199	水産加工場の排水汚水対策の件	茅部郡森町字港町65 坂田敏昭ほか10人	公害対策 特別	同

質問があり、知事から答弁があつて、午後5時29分延会。

### 知事説明要旨

ただいま議題となりました議案第33号の補正予算案について、その大要を御説明申し上げます。

さる11月30日から12月2日にかけて北海道付近で発達した低気圧により、各地で暴風雪災害の発生をみただけであります。12月11日現在で判明した被害総額は、道及び市町村関係で43億円となっているのであります。

今回の補正は、この災害にかかる災害復旧などに要する経費について所要の措置をしようとするものであります。

その総額は、11億7,500万円となるのであります。

その主なものといたしましては、農山漁村における共同自家用電気施設の復旧経費として、

へき地農山漁村電気事業費補助金 1,700万円

離島電気導入事業費補助金 900万円

有線放送施設の復旧経費として、

農業共同利用施設災害復旧事業費 800万円

を計上するとともに、

災害土木復旧費 11億4,000万円を計上いたしました。

これに見合う歳入といたしましては、

国庫支出金 9億2,600万円

道 債 2億 500万円

道 税 4,400万円

を計上いたしました次第であります。

なお、損失を受けた漁業生産資材の整備、中小商工業者の施設整備及び経営並びに酪農農家における自家発電施設の導入に必要な資金については、それぞれ所要の融資措置を講ずることとしております。

次に、債務負担行為についてであります。これは、さる11月2日に発生した石狩炭鉱の爆発災害による緊急資金の融資に伴う損失補償に関する債務負担行為として、

1億5,000万円

を計上いたしましたものであります。

よろしく御審議のほどをお願い申し上げます。

○12月18日 午前11時38分開議、諸般の報告の後、日程第1議案第1号ないし第21号、第24号ないし第33号、報告第1号及び第2号を議題とし、質疑並びに一般質問を続行、

砂原 清治議員（社会）から、灯油問題に関

文書表番号	件名	請願者	付託委員会	審査の結果
200	水産加工廃水によるのり網被害対策の件	茅部郡森町本町西部 杉浦義春ほか10人	公害対策特別	継続審査

### 陳情

文書表番号	件名	請願者	付託委員会	審査の結果
56	札幌陸運事務所小樽出張所設置の件	小樽市議会議長 渡辺善太郎ほか6人	総務	継続審査
57	精神障害者対策の件	北海道精神障害者家族連合会 会長 須藤重行	厚生	同
58	戦傷病者に対する国鉄一般乗合バス等の乗車料金減免の件	財団法人北海道傷痍軍人会 釧路支部長 酒井仁郎	同	同
60	国土開発幹線自動車道(北海道縦貫道)建設促進の件	札幌岩見沢間高速道路江別連絡協議会 代表 星 清ほか1人	建設	同
61	北海道縦貫自動車道路札幌岩見沢路線の建設促進の件	江別市の環境を守る会 代表 甲斐六郎	同	同

②継続審査中のものであって、今期定例会において採否等の決定があったもの。

### 請願

文書表番号	件名	付託委員会	審査の結果
19	都市森林緑地基金制度創設の件	総務	採択

し、価格協定、出荷停止等の責任の所在及び業界への直接指導の有無並びに値上げの妥当性に対する見解、安定供給体制確立の必要性、卸売業者の小売価格支配に対する見解、系列外小売店への差別阻止の行政措置と今後の方針等について

質問があり、知事から答弁、砂原議員から再質問、知事から答弁。次に、

**宇川 源吉議員（自民）**から、北海道の内陸部開発に関し、工業再配置法の推進に伴う工場移転促進の主体及び具体的対象地域及び業種に対する見解、内陸部への知識集約型企業の誘致及び25方都市建設、中核工業地域と地元零細企業の育成、石炭専焼火力発電所建設の具体策と決意並びに一般炭需要確保方策、閉山地域の再開発計画の樹立並びに計画策定の経過と結果及び今後の方針等について

質問があり、知事から答弁。議事進行の都合により午後1時1分休憩、午後2時22分再開。次に、

**藤井 虎雄議員（社会）**から、①長沼ミサイル基地に関し、ミサイル本体搬入の事前連絡の有無と道の対処及び按打ち搬入に対する見解、不測の事態発生に関する住民不安に対する見

解と今後の搬入計画、

②農業公害に関し、試験研究機関の研究課題及び体制の拡大強化並びに関連研究部門との共同研究、研究員の試験研究及び結果発表の自由並びに道民の知る権利の保障等について

質問があり、知事から答弁、藤井議員から再質問、知事から答弁。次に、

**亀井 忠衛議員（社会）**から、清里町北栄商事の法令違反問題に対する道の措置に関し、立入り検査実施の観点、操業停止を6カ月にとどめた理由、廃水貯溜池設置許可後の覚え書交換と覚え書の内容に対する見解、公害防止施設改善資金貸付申請における工事費の水増しと貸付額以下の工事実施並びに貸付対象貯溜池を耕地としたことに対する見解、公害防除監視体制強化の考え方等について

質問があり、知事から答弁。次に、

**笠島 保議員（社会）**から、北海道土地開発公社問題に関し、議案提案の態度、事業計画及び資金計画並びに用地取得の一元化、土地売却の届け出義務と取得用地計画との関連及び計画決定の時期、指定対象用地の道民への周知徹

文書表番号	件	名	付託委員会	審査の結果
20	都市緑化基準制定の件		総務	採択
119	札幌医科大学の学費値上げ反対の件		同	不採択
149	道立札幌医大の学費値上げに関する件		同	同
173	付加価値税新設反対の件（ほか1件）		同	取下げ
172	老令年金引上げの件		厚生	採択
177	慢性疾患児の療育費給付の件		同	同
174	公営独身寮建設の件		商工労働	取下げ
175	道内中小企業向け持家制度の件		同	同
162	特別高圧送電線及び鉄塔撤去の件		建設	採択
168	道路整備の件		同	同
176	河川改修促進の件		同	同
102	高等学校の非常勤講師（時間講師）の待遇改善の件		文教林務	同

**陳 情**

文書表番号	件	名	付託委員会	審査の結果
52	都市森林緑地用地取得の基金制度創設の件		総務	採択

底、土地買収公共団体の決定通知及び譲渡制限に関する期間に対する見解と事務的対応策、札幌、旭川における公有地の取得価格と公示価格の関連、公示価格制度の評価と今後の活用方針、公共団体への土地譲渡と基礎控除との関連及び譲渡時期等による不均衡に対する見解、苫東基地関係市町設立開発公社の用地取得の一元化の必要性、国有未開地等確保の努力、地域開発関係法令の整理統合の必要性、公社職員の待遇の平等と専門職員の配置並びに役員人事を議会の承認事項とすることに対する見解、堂垣内選対出身者の用地公社就職に対する見解等について

質問があり、あらかじめ会議時間を延長のうえ、知事から答弁、笠島議員から再質問があって、議事進行の都合により午後5時23分休憩、午後5時31分再開。休憩前の笠島議員の質問に対する答弁の後、笠島議員から発言（自席）。次に、

- 川崎 守議員（共産）から、①大型いかつり漁船に関し、100トン以上の大型船の許可に対する規制、違反船取締りの具体策と禁漁期間の延長、  
②上ノ国開拓農協問題に関し、紛争に対する見解、農電の移管に伴う造林補償、農地買収に対

する補償の考え方、

③北海道俊成農漁業村に関し、村有財産による出資及び村長の役員就任に対する見解、主務官庁の許可の有無、財団と不動産業者との関係の承知の有無及び実態調査の意思並びに今後の対処方針等について

質問があり、知事から答弁、川崎議員から再質問、知事から答弁があって、通告の質疑並びに質問を終結。ついで、本間喜代人議員（共産）から、日程第1のうち、予算に関連する議案については、なお慎重審査の必要があると認められるので、本議会に21人をもって構成する予算特別委員会を設置のうえ、これらの案件を付託されたいとの動議を提出、賛成あって動議成立、これをはかって異議なくそのことに決定。直ちに、次の委員を議長指名により選任し、議案第1号ないし第2号、第26号、第33号及び報告第1号を予算特別委員会に付託した。

○予算特別委員

- |            |            |
|------------|------------|
| 宇川 源吉（自 民） | 石川十四夫（道政ク） |
| 小沢 栄吉（自 民） | 川尻 外治（自 民） |
| 笹井 望（自 民）  | 高木 正明（自 民） |
| 鈴木 誠二（社 会） | 山科 喜一（共 産） |
| 山家 勇（社 会）  | 影山 豊（社 会）  |
| 笠島 保（社 会）  | 阿部忠三男（自 民） |
| 作田 政次（自 民） | 西野 実（自 民）  |

文書表番号	件 名	付託委員会	審査の結果
51	鍼灸按摩マッサージに関する件	厚生	採 択
52	サロベツ原野開発促進の件（ほか2件）	総合開発調査特別	取 下 げ

③更に継続審査されるもの。

請 願

文書表番号	件 名	付託委員会
3	深川市に国立医科大学設置の件	総 務
4	道立婦人会館建設の件	同
7	釧路市に国立医科大学設置の件	同
25	付加価値税新設阻止の件	同
39	登別市に警察署を設置の件	同
86	個人企業税制に関する件（ほか3件）	同
92	北海道母親連絡会の事務所設置の件	同
93	北海道平和婦人会の事務所設置の件	同
148	千歳市に国連大学設置の件	同

佐々木 豊 (自 民) 池田 金助 (自 民)  
 野中 富雄 (社 会) 青木 力 (社 会)  
 竹内 重雄 (社 会) 奈良 敬蔵 (自 民)  
 天谷 平信 (自 民)

次に、残余の議案第15号及び第27号は公害対策特別委員会に、議案第13号、第14号及び第24号は総務委員会に、議案第16号及び第17号は厚生委員会に、議案第18号は商工労働委員会に、議案第19号は農地開拓委員会に、議案第20号及び第21号は文教林務委員会に、議案第25号は水産委員会に、議案第28号ないし第32号及び報告第2号は建設委員会にそれぞれ付託することに決定。次に、各委員会における議案審査のための休会については、異議なく12月19日から12月21日まで3日間休会することに決定して、午後6時10分散会。

○12月22日 午後4時47分開議、議事進行の都合によりあらかじめ会議時間を延長し、午後4時48分休憩、午後10時36分再開。諸般の報告の後、日程第1選挙管理委員及び同補充員の選挙に入り、選挙の方法は、地方自治法第118条第2項の規定による指名推選の方法によることとし、議長から次のとおり指名し、当選。なお、補充員の委員補充の順位は、指名の順位によることに決定。

北海道選挙管理委員 同補充員  
 池田 信 孝 武内 豊 誌  
 山内 広 村本 政 信

坂本 賢 郎 村上 清 治  
 三宅 繁 樹 河村 悌 一

次に、日程第2議案第1号ないし第12号、第26号、第33号及び報告第1号を議題とし、竹内重雄予算特別委員長(社会)から委員会における審査の経過及び結果について報告の後、日程第2のうち、議案第1号、第5号、第9号ないし第12号及び第26号を問題とし、起立による採決の結果、起立多数(共産反対)をもって原案可決。ついで、残余の議案第2号ないし第4号、第6号ないし第8号、第33号及び報告第1号を問題とし、異議なく議案については原案可決、報告については承認議決と決定。

次に、日程第3議案第13号ないし第21号、第24号、第25号、第27号ないし第32号及び報告第2号を議題とし、佐藤幹夫総務委員長(自民)から議案第13号、第14号及び第24号について、堀田毅公害対策特別委員長(自民)から議案第15号及び第27号について、宮本義勝厚生委員長(自民)から議案第16号及び第17号について、亀井忠衛商工労働委員長(社会)から議案第18号について、笠井幸衛農地開拓委員長(社会)から議案第19号について、青木力文教林務委員長(社会)から議案第20号及び第21号について、佐々木豊水産委員長(自民)から議案第25号について、高橋辰夫建設委員長(自民)から議案第28号ないし第32号及び報告第2号についてそれぞれ委員会における審査の経過及び結果について報告の後、本間喜

文書表番号	件 名	付託委員会
166	道道忠別、清水(大雪縦貫道路)の建設中止の件	総 務
12	65歳以上の老人医療無料化の件	厚 生
31	いのちとくらしを守るための件	同
32	「子供の国」設置の件	同
55	子供の国建設の件	同
79	生活保護世帯、低所得世帯に対する夏期手当、年末手当(見舞金)制度化の件	同
80	高齢者に対する敬老金制度化の件	同
91	こどもの国設置に関する件	同
134	社会福祉施設等の充実の件	同
151	道立衛生学院に体育館及び体育施設建設の件	同
170	65歳以上の老人医療費無料化の件	同
171	敬老手当制度化の件	同
73	中高年令求職者の救済事業実施の件	商工労働
98	建設労働者に対する生活保障の件	同
165	失業保険制度改善要望の件	同

代人議員（共産）から議案第18号に対する反対討論があり、日程第3のうち、議案第18号を問題とし、起立による採決の結果、起立多数（社会、共産、公明反対）をもって原案可決。次に、議案第14号、第15号及び第28号を問題とし、起立による採決の結果、起立多数（共産反対）をもって原案可決。ついで、残余の議案第13号、第16号、第19号ないし第21号、第24号、第25号、第27号、第29号ないし第32号及び報告第2号を問題とし、異議なく議案については原案可決、報告については承認議決と決定。

次に、日程第4前会より継続審査中の報告第1号ないし第7号を議題とし、合坪正三企業会計決算特別委員長（社会）から委員会における審査の経過と結果について報告の後、日程第4のうち、報告第4号ないし第7号を問題とし、起立による採決の結果、起立多数（共産反対）をもって報告第4号、第6号及び第7号は認定議決、報告第5号は意見を付し認定議決。ついで、残余の報告第1号ないし第3号を問題とし、異議なく報告第1号及び第2号は認定議決、報告第3号は意見を付し認定議決と決定。

次に、日程第5議案第34号及び報告第5号を議題とし知事から提案説明があり、質疑なく、津川直一議員（道政ク）から、日程第5のうち報告第5号については、なお慎重審査の必要があると認められるので、本議会に27

人をもって構成する決算特別委員会を設置し、本案件を付託のうえ、次の議会まで閉会中継続審査とされたい旨の動議を提出、賛成あって動議成立、これをはかって異議なくそのことに決定。直ちに、次の委員を議長指名により選任し、報告第5号を決算特別委員会に付託した。

#### ○決算特別委員

熊谷 克治（社会）	岩本 政光（自民）
小笠原 孝（自民）	石川十四夫（道政ク）
藤井 猛（自民）	先崎 照雄（社会）
藤井 虎雄（社会）	野村 光雄（公明）
山科 喜一（共産）	山家 勇（社会）
村上 稔明（自民）	吉田 政一（自民）
高橋正四郎（自民）	西村 慎一（自民）
渡部 五郎（自民）	石畑 久成（自民）
大内 三治（自民）	小堀 秀次（社会）
砂原 清治（社会）	野中 富雄（社会）
亀井 忠衛（社会）	湯田 倉治（社会）
奥野 善造（自民）	麻里 悌三（自民）
川口 常一（自民）	佐々木利雄（自民）
福島新太郎（自民）	

次に、日程第5のうち議案第34号を問題とし、委員会付託を省略のうえ、直ちに採決に入り、起立による採決

文書表番号	件名	付託委員会
169	卸売市場近代化資金の金利引下げの件	商工労働
5	消費者米価の物統令適用除外と米の買入制限反対、生産調整奨励金道費上積みと生産調整政策転換要求の件	農務
179	北海道地方競馬に関する件	同
51	道管若竹高層住宅に物置、風呂場設置の件	建設
72	空港管理の道移管についての件	同
180	大型店舗誘致反対の件	同
52	土地改良事業再施行の件	農地開拓
76	道管かんがい排水整備事業取止めの件	同
77	開拓パイロット事業実施に伴う損害補償と再施行の件	同
78	草地造成事業の再施行の件	同
15	除草剤散布反対の件	文教林務
99	道立高等学校授業料の引上げに反対し、教育費の父母負担軽減の件	同
100	公立高校小学区制の回復、高校進学希望者の全員入学達成、高校増設、私学への大幅な公費助成、教育費父母負担軽減の件	同
103	高校入試3科目制反対の件	同
113	道立高等学校の授業料等値上反対の件	同



の結果、起立多数(共産反対)をもって原案可決と決定。

次に、**日程第6意見案第1号**(灯油価格安定対策樹立に関する要望意見書)を議題とし、提出者の説明及び委員会付託を省略のうえ、異議なく原案可決と決定。

次に、**日程第7請願、陳情審査の件**を議題とし、委員長報告を省略の後、日程第7のうち、請願第119号及び請願第149号(いずれも札幌医科大学の学費値上げに関する件)を問題とし、起立による採決の結果、起立多数(共産反対)をもって委員会決定のとおり不採択と決定。次に、残余の請願、陳情を問題とし、異議なく委員会決定のとおり採択と決定。

次に、**日程第8請願第199号及び請願第200号**を議題とし、異議なく公害対策特別委員会に付託し、閉会中継続審査とすることに決定。

ついで、閉会中請願、陳情審査及び事務調査の件を議題とし、各常任委員長並びに総合開発調査、石炭対策、公害対策各特別委員長から申し出のとおり、閉会中継続審査又は調査に付することに決定し、今期定例会に付議された案件は、報告第5号を除きすべて議了。杉本栄一議長から閉会のあいさつがあって、午後11時30分閉会。

### 予算特別委員長報告

私は、予算特別委員会に付託されました議案審査の経過と結果について御報告申し上げます。

本委員会は、さる18日設置され、昭和47年度各会計補正予算並びにこれに関連する議案15件が付託されたのであり

ますが、委員会といたしましては、すみやかに審査を行なうことを目途に、同日、正副委員長の互選を行ないますとともに、審査の方法等について協議を行ない、翌19日から各部所管の質疑に入り、質疑終結後、各派代表者により意見の調整を図りましたうえ、先ほどの委員会におきましてお手もとに配付の報告書(別紙省略)のとおり結論を得た次第であります。

御承知のとおり、これらの案件は、昭和47年度一般会計及び特別会計の総額74億8,000万円余に及ぶ補正予算並びにこれに関連する議案でありまして、これらの案件を中心に、道政各般にわたり質疑が交わされた次第であります。

この間、委員各位におかれましては、短期日のなかで慎重かつ熱心に審議を尽くされた次第でありまして、その御労苦に対しましては、衷心より敬意を表する次第であります。

以下、質疑を通じ論議の対象となりました主たる事項を申し上げます、

保育所の運営問題、心身障害者対策、社会福祉行政の基本姿勢。

毒、劇物の取締り問題、看護学院新設計画、畜犬、野犬取締りの強化。

「野菜の日」、「魚の日」の拡大、産炭地振興の具体策、中小企業対策、地下資源調査所における旅費支出問題。

農用地の不法売買等にかかわる問題、勝馬投票券の発売制限の徹底、石油タンパク飼料の安全性の確認、薬害事故

文書表番号	件名	付託委員会
114	私立高等学校の授業料等値上反対の件	文教林務
132	文化財保護の件	同
143	公立高校小学区制の回復、入試科目削減反対の件(ほか1件)	同
144	公立高校小学区制の回復、入試科目削減反対、帯広市に公立高校新設、私学への大幅な公費助成に関する件	同
145	学校法人旭川大学(大学、短大、高校、幼稚園)の存続再建のための特別助成及び融資の実現と同時に広く道内私学への大幅な公費助成の件	同
146	国立及び公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法にかかわる条例の施行にともなう協定書に即した行政通達の件	同
160	私立大学の設備費補助金増額の件	同
161	腎臓病児対策の件	同
178	道立高等学校増設及び私立高等学校振興策の改善の件	同
136	新幹線札幌駅乗入促進の件	総合開発特別対策別
69	炭鉱離職者と家族、関連企業離職者救済事業実施の件	調査炭害対
94	泊・共和地区に原子力発電所設置反対の件	公害対
147	PCB「公害」から命を守るための緊急対策の件	同

防止、長万部町静狩地区の農業振興策。

浦臼地区の道営かんがい排水工事施行の問題、土木災害対策、産業開発青年隊の運営方針。

土地開発公社にかかわる諸問題、大麻小・中学校建築に関する監督責任。

灯油の価格問題、公害防止センターの組織運営と地方公共団体の負担金問題。

水産加工場の汚水対策、函館空港建設にかかわる漁業補償措置、大型いかつり漁船の違反取締りの強化。

開発公共事業費の負担区分、総合土地利用基本計画策定時期、苫小牧東部工業基地住宅用地買収問題。

高校間口減の実施根拠と将来計画、特殊教育振興策、公立幼稚園の設置促進、高校越境入学にかかわる問題、必修クラブ活動の基本的考え方。

モーター営業の規制。

私立高校授業料値上げ抑制策、私立幼稚園納付金値上げの実態と幼児教育推進方策、公社、法人等に対する出資の基本的な考え方、予算編成のあり方、道独自の減税政策、大雪山縦貫道路建設にかかわる意見書提出に対する見解、米軍の北爆再開に対する見解、自衛隊真駒内基地撤去等の問題

などでありまして、引き続き、総括質疑に入り、

減税政策、大雪山縦貫道路建設に伴う知事の意見書提出とその考え方、北海道苫小牧公害防止センターの運営と地方公共団体の負担金問題、米軍の北爆再開に対する見解、真駒内米軍基地撤去問題、土地開発公社にかかわる諸問題について、知事との間において論議が交わされた次第であ

ります。

しかし、質疑終了後、各派代表者におきまして意見の調整を図ってまいりましたが、議案第1号、第5号、第9号ないし第12号及び第26号の7件につきましては、ついに意見の一致をみるに至らず、先ほどの委員会におきまして、採決の結果、賛成者多数をもって原案可決と決定し、議案第2号ないし第4号、第6号ないし第8号及び第33号につきましては、全会一致、原案可決、報告第1号につきましては承認議決と決定した次第であります。

なお、議案第1号につきましては、審査の経緯にかんがみ、次の意見、すなわち、

- 1 老人福祉の向上を期するため、老人医療費無料化制度の運用について、その対象年齢の引下げを推進するとともに、市町村国民健康保険財政の健全化を図るべきである。
- 2 ねたきり老人については、いまだその多くが放置されている実態にかんがみ、早急にこれが対策の充実強化を図るべきである。
- 3 在宅重度心身障害者の援護の充実を期するため、重度心身障害者の医療費の無料化の実施について、積極的にその促進を図るべきである。
- 4 乳幼児の医療行政の確立を図るとともに、医療費の無料化の方向に沿って、その促進を図るべきである。
- 5 最近における卸売物価の上昇にかんがみ、消費者物価への影響を抑制するよう、総力をあげてこれに対処すべきである。
- 6 北海道土地開発公社の業務内容、将来計画及び資金計

## 陳 情

文書表番号	件 名	付託委員会
3	道立婦人会館建設の件	総 務
42	北海道開拓の日制定の件	同
7	長期入院患者への夏期生活保障金（見舞金）支給の件	厚 生
18	長期入院患者への冬期生活保障金（見舞金）支給の件	同
28	南宗谷地域センター病院設置の件	同
29	稚内保健所支所設置の件	同
32	清掃施設整備に対する道費補助の件	同
43	長期入院患者への夏期生活保障金（見舞金）支給の件	同
44	枝幸町に地域センター病院設置の件	同
49	日本赤十字社病院に対し財政援助の件	同
33	原子力発電所設置促進の件	商 工 労 働
45	東胆振広域圏「早来町」に労災病院建設の件	同
48	百貨店、大型スーパー等の進出規制の件	同

画については、議会において充分審議できるよう配慮すべきである。

7 道の行なう用地の先行取得については、可能な限り一元的に土地開発公社に行なわせるべきである。

8 国の委託業務については、事業を限定し、本道開発上の基幹的施設等にかかわるものにとどめるよう配慮すべきである。

との附帯意見を付されたいとの動議が提出せられ、賛成者多数でこれを決定した次第であります。

以上で、本委員会に付託されました案件の審査経過と結果を申しあげまして、私の報告を終わります。

## 企業会計決算特別委員長報告

私は、ただいま議題となりました前会より継続審査の企業会計決算にかかわる報告第1号ないし第7号の7件につきまして、その審査の経過並びに結果について御報告申し上げます。

御承知のとおり、本委員会は、さる10月30日設置され、直ちに正副委員長の互選を行ない、20日の委員会において、自後の審査方法を決定するとともに、決算内容の調査に入り、31日の委員会において、理事者から決算概要について、監査委員から決算審査意見についてそれぞれ説明を聴取し、引き続き、決算内容の調査を行なった次第であります。

この間、審査の必要上57項目の資料要求を行ない、理事者から資料の提出を受けるとともに、12月14日から各部所管審査に入り、12月19日をもっていっさいの質疑を終結した次第であります。

以下、各所管ごとの質疑を通じ、論議の対象となりました主な事項を申し上げます、

林務部所管におきましては、  
道有林野事業に関し、事業収益減少の理由と基金充当の

考え方、木材価格変動の長期見通しその対応策、道東林道移管の経緯、道有林事業の直備と請負問題、市町村交付金の増額措置、職員定数と欠員補充対策、庁舎、公宅等の整備方針、林務行政の基本的姿勢、道有林会計の赤字解消策などの諸問題。

衛生部所管におきましては、

道立病院事業に関し、医師、看護婦の確保対策、医師、エックス線技師の未配置の理由、非常勤職員定数化、病院ごと収益差の原因、薬品の購入方法と医薬材料費の効率的執行のあり方、医療体制の整備、入院患者に対する給食の改善などに関する諸問題。

住宅都市部所管におきましては、

北広島団地開発事業に関し、団地造成進ちょく状況、取水、給水計画、地盤沈下対応策、団地利用交通対策、あき家の原因把握と解消策、団地造成土地選定の考え方などに関する諸問題。

企業局所管におきましては、

電気事業に関し、道営発電事業の目的と地域経済に及ぼす効果、折込み原価と実績の比較、電力料金改正の考え方、二股発電所機構の改革。

有料道路事業に関し、建設経費償還期間延長の理由と償還見通し。

工業用水道事業に関し、欠損金の状況と赤字解消策。

工業団地開発事業に関し、苫小牧東部工業団地用地買収に対する基本的姿勢などに関する諸問題  
等の各般にわたり、活発な論議が交わされた次第であります。

しかして、質疑終結後、各派代表者間において意見の調整を図ってまいりましたが、報告第4号ないし第7号につきましては、ついに意見の一致をみるに至らず、12月20日の委員会におきまして採決の結果、賛成多数をもって、報告第4号、第6号及び第7号は認定議決、報告第5号につきましては、以下申しあげる意見、すなわち、

文書表番号	件名	付託委員会
15	農業委員会等に関する法律改正の件	農 務
38	農地買収処分調査の件	同
26	ボーリング場建設に伴う公害排除の件	建 設
34	道立高等学校（全日制普通科）新設の件	文 教 林 務
50	北海道における芸術文化振興の件	同
55	上磯高等学校の道立移管の件	同
5	国鉄の民営企業圧迫反対の件	総 合 調 査 特 別 委 員 会
31	洞爺湖湖水汚染防止対策の件	同
37	北海道公害防止条例に基づく委任事務に対する経費負担及び助成措置等の件	同

工業用水道事業会計の累積赤字解消のための対策を早急に確立すべきである。

との意見を付し認定すべきものと決定した次第であります。

また、報告第1号及び第2号につきましては認定議決、報告第3号につきましては、次に申しあげます意見、すなわち、

北広島団地の利用促進対策のため、交通網の総合的解決を図るべきである。

との意見を付し、全会一致、これを認定すべきものと決定した次第であります。

この間、委員各位には、終始慎重かつ御熱心に審議を尽くされた次第でありまして、その御労苦に対しましては、衷心より敬意を表する次第であります。

これをもって、私の報告を終わります。

## 知事説明要旨

ただいま議題となりました特別職職員の退職手当の額を定める件及びその他の案件について、御説明申しあげます。

議案第34号につきましては、北海道監査委員赤沼正君の任期満了に伴い、支給すべき退職手当の額につき、北海道知事等の退職手当に関する条例第3条の規定により、議会の議決を得ようとするものであります。

次に、昭和46年度北海道各会計決算についてであります

が、

まず、一般会計におきましては、

歳入決算額	3,953億2,400万円
歳出決算額	3,942億 700万円

で、

差 引	11億1,700万円
-----	------------

となりましたが、このうち、繰越し事業財源に

2億4,000万円

を充当いたしましたので、

差 引	8億7,700万円
-----	-----------

を翌年度へ繰り越すこととした次第であります。

次に、特別会計におきましては、

歳入決算額	205億 800万円
歳出決算額	203億4,800万円

で、

差 引	1億6,000万円
-----	-----------

の剰余金を生じた次第であります。

よろしく御審議のほどをお願い申し上げます。

# 意 見 書

意見案第1号

(亀井忠衛君ほか12人提出)  
12月22日 原案可決)

## 灯油価格安定対策樹立に関する要望意見書

灯油は、道民の冬期生活に於ける不可欠の必需品となっているので、その価格の安定、特に元売価格の安定と供給の確保について、恒久的対策を樹立されるよう要望する。

(理 由)

最近における本道の家庭用燃料としての灯油消費量は急速に増大し、大多数の道民が依存している現状にかんがみ、その価格の安定と供給の確保はきわめて重要な問題である。

然るに、最近、道内各地で元売業者が小売業者に対して供給を制限するという事態が続発している。

これら一連のことについては、元売業者が卸価格を上げるための手段として、低価格で販売する小売業者に対して供給を停止したのではないかという疑いがもたれ、目下、公正取引委員会において調査中である。

したがって、国においては、灯油流通の円滑化を推進し、併せて価格の安定、特に元売価格の安定をはかるため、国内の適正な価格維持のために適切かつ具体的な措置を講ぜられたい。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

年 月 日

北海道議会議長 杉本 栄一

内閣総理大臣、大蔵大臣、通商産業大臣 }  
自治大臣、経済企画庁長官、衆議院議長 } 各通 (国会には、請願書として提出する。)  
参議院議長



# 委員会の動き

## 議会運営委員会

○12月6日 午後2時10分、議会運営委員会室において開議、午後2時20分散会、委員長 倉増 新八郎（自民）

開議に先だち、津川直一委員（自民）から、故林謙二議員の葬儀に関する謝辞があった。

- ① 委員長から、林謙二議員（道政ク）の逝去（11月20日）及びこれに伴う各党派所属議員数（自民58人、社会34人、道政ク4人、共産4人、公明2人、欠員3人）について報告。
- ② 林議員の逝去に伴う議席について、異議なく空席とし、変更しないことに決定。
- ③ 第4回定例会の招集日について、12月13日とすることを了承。
- ④ 総務部長から、第4回定例会提出予定案件について説明。
- ⑤ 合坪 正三委員（社会）から、企業会計決算特別委員の審議と一般、特別会計決算の提案時期及び予算特別委員の選任との関連等について意見があった。
- ⑥ 第4回定例会の会期について、12月13日から22日までの10日間とすることに決定。日程については、次回委員会までに各党派において検討することとした。
- ⑦ 故林議員の追悼演説について、同一選挙区の社会党所属議員により行なうこと、追悼演説後1分間の黙祷を行なうことを決定。
- ⑧ 林議員の逝去に伴う総合開発調査特別委員の補欠選任について、異議なく道政クラブ所属議員から選任することに決定。
- ⑨ 道選挙管理委員会委員及び補充員の選挙について、会長会議において検討することを了承。

○12月12日 午後2時4分、議会運営委員会室において開議、午後4時13分散会、委員長 倉増 新八郎（自民）

- ① 総務部長から、第4回定例会提出予定案件について説明及び教職員給与改定案件の先議方について要請。
- ② 議案第22号（北海道学校職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案）及び第23号（市町村立学校職員給与負担法に規定する学校職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案）について、提案説明後直ちに文教林務委に付託、休憩中先議し、再開後の本会議において議決することに決定。
- ③ 第4回定例会の日程について、次のとおりとするこ

とに決定。

### ▽ 第4回定例会日程

12月13日 本会議（提案説明）  
12月14日 休会  
12月15日～18日 本会議（代表・一般質問、予算特別委設置）  
12月19日～21日 休会（予算特別委審議）  
12月22日 本会議

- ④ 林謙二議員（道政ク）逝去に伴う総合開発調査特別委員について、津川直一議員（道政ク）を補欠選任することに決定。
- ⑤ 故林議員に対する追悼演説について、社会党議員が行なうことに決定。
- ⑥ 議案調査のための休会について、12月14日1日間とし、15日再開することに決定。
- ⑦ 代表質問について、社会、自民、共産、道政クの順位とし、質問通告は12月13日午後5時までとすること及び一般質問の通告は14日午後5時までとすることを了承。
- ⑧ 明13日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

### ▽ 議事順序

（開会）

日程第1 会議録署名議員の指定

諸般の報告

議長の林謙二議員の逝去報告

笠井幸衛議員（社会）の追悼演説

故林議員に対する黙祷

日程第2 会期決定の件（12月13日から22日まで10日間）

日程第3 総合開発調査特別委員補欠選任の件

日程第4 議案第1号ないし第32号、報告第1号及び第2号

提出議案に対する知事説明

議案第22号及び第23号先議のため、文教林務委員会に付託

（休憩）

追加日程 議案第22号及び第23号

文教林務委員長報告

委員長報告のとおり決定することについて採決

休会の決定（12月14日1日間）

- ⑨ 本間 喜代人委員（共産）から、前回の鹿沼農場に関する知事答弁の信ぴょう性と事実の明示方について要請があった。

○12月13日 午前11時20分、議会運営委員会室において開議、午後4時散会、委員長 倉増 新八郎（自民）



- ① 本日の本会議の議事は、昨日決定のとおり取り進めることを了承し、午前11時22分休憩、午後3時54分再開。
- ② 総務部長から、鹿沼農場に関する知事答弁について説明の後、本間喜代人委員（共産）から意見。
- ③ 委員長から、先議案件の審議状況について報告。
- ④ 再開後の本会議の議事は、諸般の報告の後、日程に追加し、議案第22号及び第23号を議題とし、文教林務委員長報告の後、簡易採決、ついで、議案調査のための休会を決定して、散会する、以上の順序にて取り進めることに決定。

○12月15日 午前11時1分、議会運営委員会室において開議、委員長 倉増 新八郎（自民）

- ① 代表質問の通告について、1 番諏訪田勝衛議員（社会）、2 番作田政次議員（自民）、3 番本間喜代人議員（共産）、4 番津川直一議員（道政ク）の順序とし、本日2人、明日2人を行なうことに決定。
- ② 予算特別委員会について、構成は21人（自民12人、社会7人、道政ク、共産各1人）とし、委員長は社会、副委員長は自民とすることに決定。委員名簿は、12月16日正午までに提出することとした。
- ③ 本日の本会議の議事は、日程第1議案第1号ないし第21号、第24号ないし第32号、報告第1号及び第2号で、代表質問2人を行ない、延会する、以上の順序にて取り進めることに決定。
- ④ 総務部長から、出納長の本会議欠席について説明、異議なくこれを了承。議事進行の都合により午前11時5分休憩、その後委員会を再開せず、理事会のみとした。

○12月16日 午前10時55分、議会運営委員会室において開議、委員長 倉増 新八郎（自民）

- ① 川城総務部次長から、追加提出議案について説明。
- ② 本日の代表質問の順位を1番本間喜代人議員（共産）、2番津川直一議員（道政ク）、3番諏訪田勝衛議員（社会）とすることに決定。
- ③ 一般質問の順位は、本日の状況により決定することに決定。
- ④ 本日の本会議の議事は、日程第1議案第33号を議題とし、知事の提案説明の後、日程第1にあわせ、日程第2議案第1号ないし第21号、第24号ないし第32号、報告第1号及び第2号を一括議題とし、代表質問3人を行ない、一般質問に入る、以上の順序にて取り進めることに決定。議事進行の都合により午前11時3分休憩、その後委員会を再開せず、理事会のみとした。

○12月18日 午前11時17分、議会運営委員会室において開議、午前11時27分散会、委員長 倉増 新八

郎（自民）

- ① 一般質問の通告（6人）及び順位についてはかり、共産党の一般質問の取扱い、4定の会期と効率的運営について、原清重委員（社会）、本間喜代人委員（共産）、小堀秀次委員（社会）及び滝沢勉委員（自民）から意見の交換の後、今後検討することとし、配付の一覧表の順位により行なうことに決定。
- ② 予算特別委の設置動議は、道政クラブから提出することに決定。
- ③ 議案の各委員会付託について、事務局長説明のとおりとすることに決定。
- ④ 各委員会付託議案審査のため、12月19日から21日まで3日間休会、22日再開することに決定。
- ⑤ 決算特別委員名簿について、12月21日午前中に提出することを了承。
- ⑥ 総務部長から、出納長の本会議欠席について説明の後、異議なくこれを了承。
- ⑦ 総合開発調査特別委員会の要望意見書の取扱いについて、理事会に一任することに決定。
- ⑧ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

日程第1 議案第1号ないし第21号、第24号ないし第33号、報告第1号及び第2号  
 質疑並びに一般質問（6人）  
 （質疑終結宣告）  
 予算特別委員会設置動議  
 予算特別委員の選任  
 議案の各委員会付託  
 休会の決定（12月19日から21日までの3日間）

○12月22日 午後10時8分、議会運営委員会室において開議、午後10時21分散会、委員長 倉増 新八郎（自民）

- ① 選挙管理委員及び同補充員の選挙方法について、指名推選の方法によることとし、議長指名とすることに決定。
- ② 委員長から、各委員会付託議案及び継続審査案件の審議状況について報告。
- ③ 総務部長から、追加提出案件について説明。そのうち、報告第5号（北海道各会計歳入歳出決算の件）については、決算特別委を設置のうえ、付託し、閉会中継続審査とすること、議案第34号（特別職職員の退職手当の額を定める件）については、委員会付託を省略し、即決することに決定。
- ④ 決算特別委員会について、構成は27人（自民15人、社会9人、道政ク、共産、公明各1人）とし、設置動議は、道政クラブから提出することに決定。
- ⑤ 請願第199号（水産加工場の排水汚水対策の件）及

び第200号(水産加工廃水によるのり網被害対策の件)について、公害対策特別委員会に付託し、閉会中継続審査に付することに決定。

⑥ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

#### ▽ 議事順序

(再開)

諸般の報告

日程第1 選挙管理委員及び同補充員の選挙

日程第2 議案第1号ないし第12号、第26号、第33号及び報告第1号

予算特別委員長報告

議案第1号、第5号、第9号ないし第12号及び第26号を問題とし、委員長報告(可決)のとおり決することについて起立採決(反対共産)

議案第2号ないし第4号、第6号ないし第8号、第33号及び報告第1号を問題とし、委員長報告(議案は可決、報告は承認議決)のとおり決することについて簡易採決

日程第3 議案第13号ないし第21号、第24号、第25号、第27号ないし第32号及び報告第2号  
総務、公害対策特別、厚生、商工労働、農地開拓、文教林務、水産、建設各委員長報告

本間喜代人議員(共産)の議案第18号に対する反対討論

議案第18号を問題とし、委員長報告(可決)のとおり決することについて起立採決(反対社会、共産、公明)

議案第14号、第15号及び第18号を問題とし、委員長報告(可決)のとおり決することについて起立採決(反対共産)

議案第13号、第16号、第17号ないし第21号、第24号、第25号、第29号ないし第32号及び報告第2号を問題とし、委員長報告(議案は可決、報告は承認議決)のとおり決することについて簡易採決

日程第4 前会より継続審査の報告第1号ないし第7号

企業会計決算特別委員長報告

報告第4号ないし第7号を問題とし、委員長報告(報告第4号、第6号及び第7号は認定議決、第5号は意見を付し認定議決)のとおり決することについて起立採決(反対共産)

報告第1号ないし第3号を問題とし、委員長報告(報告第1号及び第2号は認定

議決、第3号は意見を付し認定議決)のとおり決することについて簡易採決

日程第5 議案第34号及び報告第5号

追加提出議案に関する知事の説明

報告第5号について、決算特別委員会を設置し、付託のうえ、閉会中継続審査に付する旨の動議提出

動議のとおり決することについて簡易採決

決算特別委員の指名選任

議案第34号を問題とし、委員会付託を省略のうえ、原案のとおり決することについて起立採決(反対共産)

日程第6 意見案第1号(灯油価格安定対策樹立に関する要望意見書)

(説明及び委員会付託省略)

原案のとおり決することについて簡易採決

日程第7 請願、陳情審査の件

(委員長報告省略)

請願第119号及び第149号を問題とし、委員会決定(不採択)のとおり決することについて起立採決(反対共産)

残余の請願、陳情を問題とし、委員会決定(いずれも採択)のとおり決することについて簡易採決

日程第8 請願第199号及び第200号

公害対策特別委員会に付託し、閉会中継続審査に付することについて簡易採決

閉会中請願、陳情継続審査及び事務調査の件

各常任委員長並びに総合開発調査、石炭対策、公害対策特別委員長申し出のとおり、閉会中継続審査又は調査に付することについて簡易採決  
議長あいさつ

(閉会)

# 常任委員会

## 総務委員会

○12月12日 午前11時27分、第5委員会室において開議、  
午後零時40分散会、委員長 佐藤 幹夫（自  
民）

### 一般議事

- ① 総務部長から第4回定例会提出予定案件及び低気圧による災害被害状況について、道警防犯部長から昭和47年歳末取締りについてそれぞれ説明。
- ② 生活環境部長から、灯油の安定供給確保について説明の後、  
越前谷 忠委員（社会）から、函館地区の灯油の供給及び値上げの状況、供給設備等の事故状況の把握及び今後の対処策等について  
質疑、意見及び要望があり、生活環境部長から答弁。
- ③ 塚本 肇委員（社会）から、パトカーの行動範囲及び営林署の組合集会に出勤した経過及び見解について、  
越前谷 忠委員（社会）から、騒音の有無と通報者との関連、労働運動介入の有無等について  
質疑、意見及び要望があり、道警防犯部長及び道警本部長から答弁。

○12月16日 午前10時55分、第5委員会室において開議、  
午前11時8分散会、委員長 佐藤 幹夫（自  
民）

### 一般議事

- ① 総務部長から、第4回定例会追加提出予定災害関係補正予算について説明。
- ② 越前谷 忠委員（社会）から、道北地方の長期停電に関し、北電の送電体制の適否及び北電との交渉の経緯について、  
福島 新太郎委員（自民）から、島牧村方面の災害復旧に対する予算措置について  
質疑、意見及び要望があり、総務部長から答弁。

○12月21日 午後1時38分、第5委員会室において開議、  
午後4時49分散会、委員長 佐藤 幹夫（自  
民）

### 付託案件の審査

- ① 議案第13号（北海道恩給並びに他の地方公共団体の退職年金及び退職一時金の基礎となるべき在職期間と職員の退職料及び退職給与金の基礎となるべき在職期間との通算に関する条例等の一部を改正する条例案）を議題とし、総務部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。
- ② 議案第14号（北海道工業団地開発事業条例の一部を

改正する条例案）を議題とし、開発調整部長から説明の後、

佐野 法幸委員（社会）から、先行取得の所管部並びに結論の留保方について  
質疑及び意見があり、開発調整部長から答弁があつて、午後1時13分休憩、午後1時45分再開し、本件を留保することとした。

- ③ 議案第24号（風俗営業等取締法施行条例の一部を改正する条例案）を議題とし、道警防犯部長から説明の後、

越前谷 忠委員（社会）から、本件の審議方法、モーテル営業禁止地域における許可の有無、既存施設の改造と法律改正の基本的考え方、規制権限と規制基準等について、

佐野 法幸委員（社会）から、場所の明示方法について

質疑及び意見があり、委員長から応答、道警防犯部長から答弁があつて、午後2時20分休憩、午後2時30分再開。

### 一般議事

- ① 請願、陳情について、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の扱いとすること、及び地方行財政制度に対する対策の件ほか2件について、閉会中継続調査の扱いとすることをはかり、異議なくそのことに決定。
- ② 委員長から、昭和48年度開発予算に関する中央折衝の実施については、異議なくそのことに決定。実施時期等については、委員長に一任することとし、午後2時35分休憩、午後4時48分再開し、直ちに散会。

○12月22日 午後7時50分、第5委員会室において開議、  
午後8時28分散会、委員長 佐藤 幹夫（自  
民）

### 付託案件の審査

- ① 議案第14号（北海道工業団地開発事業条例の一部を改正する条例案）を議題とし、開発調整部長から、昨日の質疑に対する補正答弁の後、佐野法幸委員（社会）から、土地取得の所管部について意見があり、議事進行の都合により午後7時54分休憩、午後8時13分再開し、異議なく原案のとおり可決することに決定。
- ② 議案第24号（風俗営業等取締法施行条例の一部を改正する条例案）を議題とし、質疑なく、異議なく原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

### 一般議事

- ① 総務部長から、第4回定例会追加提出予定案件について説明。
- ② 佐野 法幸委員（社会）から、大雪縦貫道路建設に関する請願の公害対策特別委員会付託の妥当性について

て  
意見があり、議事進行の都合により午後8時15分休憩、  
午後8時27分再開し、直ちに散会。

## 厚生委員会

○12月2日 午後零時50分、第9委員会室において開議、  
午後零時12分散会、委員長 宮本 義勝（自民）

### 一般議事

- ① 委員長から、さきを実施した高齢保障及び医療保障の確立に関する中央折衝の概要並びに沖縄北嶽碑除幕式及び慰霊祭に出席の概要について報告書により報告、異議なくこれを了承。
- ② 民生部長から、社会福祉施設設置の考え方及び民間法人の指導のあり方に対する検討結果について説明の後、  
倉増 新八郎委員（自民）から、指導方針に関する資料について  
要求があった。

○12月12日 午後2時30分、第9委員会室において開議、  
午後2時45分散会、委員長事故のため副委員長 三上 勇（自民）

### 一般議事

- ① 民生部長及び衛生部長から、第4回定例会提出予定案件について説明。
- ② 委員長から、さきの委員会において要求のあった社会福祉施設の設置及び指導方針に関する資料の提出があった旨を報告。

○12月21日 午後1時、第9委員会室において開議、午後  
1時11分散会、委員長 宮本 義勝（自民）

### 付託案件の審査

- 議案第16号（北海道保母修学資金貸付条例の一部を改正する条例案）及び議案第17号（北海道立看護学院条例の一部を改正する条例案）を順次議題とし、民生部長及び衛生部長からそれぞれ説明の後、いずれも異議なく原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

### 一般議事

- ① 請願、陳情について、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の扱いとすること、及び社会福祉対策の件ほか1件について、閉会中継続調査の扱いとすることをはかり、異議なくそのことに決定。
- ② 衛生部長から、帯広市中学校の食中毒事故の概要について説明。

## 商工労働委員会

○12月12日 午後零時6分、第8委員会室において開議、  
午後1時46分散会、委員長 亀井 忠衛（社会）

### 一般議事

- ① 委員長から、さきを実施した中小企業の振興に関する中央折衝並びに他府県の商工労働事情の調査の概要について報告書により報告、異議なくこれを了承。
- ② 商工観光部長、労働部長及び企業局長から、第4回定例会提出予定案件についてそれぞれ説明。
- ③ 商工観光部長から、低気圧による暴風雪災害の被害状況について説明の後、  
武部 勤委員（自民）から、送電線の具体的復旧の見通し、間接、直接の被害に対する見舞金の要請、農電の災害復旧に対する負担区分、中小企業に対する救済等、市町村の財源負担に対する考え方について  
質疑及び意見があり、商工観光部長から答弁。
- ④ 商工観光部長から、北海道卸売市場整備計画について説明の後、  
山科 喜一委員（共産）から、仲卸人と売買参加者との関連、市場の運営と消費者物価の関連及び今後の見通しについて  
質疑及び意見があり、商工観光部長から答弁。

- ⑤ 砂原 清治委員（社会）から、(1)札幌市大通日雇集合所に関し、設置の経過、設置主体と法的解釈及び集合所の性格、(2)灯油の供給と価格に関し、供給停止に対する提訴と卸売、メーカー段階による価格協定に対する行政上の責任、値上げ移行の妥当性、系列化に対する指導方策、日本石油連盟道支部との懇談会の必要性について、

山科 喜一委員（共産）から、(1)日雇集合所に関し、集合所の性格と実態、存続の必要性及び組合との話し合い、(2)小樽駅前再開発に関し、大型スーパー進出の動向と市、商工会議所の態度及び道の考え方について  
質疑、意見及び要望があり、労働部長及び商工観光部長から答弁、委員長から応答。

### 本日聴取した陳情

札幌市大通合同日雇集合所の存続について

全日自労札幌支部執行委員長

○12月21日 午後1時26分、第8委員会室において開議、  
午後2時30分散会、委員長 亀井 忠衛（社会）

### 付託案件の審査

- 議案第18号（北海道工鉱業開発促進条例の一部を改正する条例案）を議題とし、商工観光部長から説明の後、

砂原 清治委員（社会）から、条例の基本的な考え方、税負担の公平の原則、日本経済の地位、高度成長のひずみ等の観点からの必要性と反省の機会、道開発推進への寄与に対する判断の適否等について、

山科 喜一委員（共産）から、基本的な産業立地を考える必要性、新産法による工場立地の現状及び苫小牧の波及効果に対する見解、大企業による波及効果の判断の誤り及び企業の優遇措置の要否等について質疑及び意見があり、商工観光部長から答弁。ついで、砂原清治委員（社会）から反対討論の後、採決に入り、挙手採決の結果、挙手多数（反対社会、共産）にて原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

#### 一般議事

- ① 委員長から、昭和48年度国費予算に関する中央折衝の実施についてはかり、異議なく2班により実施することに決定。派遣委員については、委員長に一任することとした。
- ② 中小企業振興対策の件ほか2件について、閉会中継続調査の扱いとすること、及び請願、陳情について、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の扱いとすることをはかり、異議なくそのことに決定。
- ③ 山科 喜一委員（共産）から、道心身障害者雇用促進協会に関し、内容と年間運営費の収支予定の把握状況及び自主的な財政運営の必要性、道の指導のあり方と今後の方針、身障者職業センター設置の現状等について質疑及び意見があり、労働部長から答弁。
- ④ 桜井 勝広委員（社会）から、灯油問題に関し、関係機関に対する要請の必要性について意見があり、これをはかって、異議なく要望意見案を發議することに決定。案文については、理事会において検討することとした。

### 農務委員会

○12月12日 午前11時25分、第7委員会室において開議、午後零時20分散会、委員長 奈良 敬蔵（自民）

#### 一般議事

- ① 委員長から、さき実施した昭和47年産米にかかる政府買入れ数量に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なくこれを了承。
- ② 農務部長から、第4回定例会提出予定案件等について説明。
- ③ 農務部長から、道北地方風害被害について説明の後、高橋 正四郎委員（自民）から、農業電気の重要性

に対する認識、北電に対する防災対策、農村電気の移管に対する方針、自家発電機設備の考え、北電の見舞金要請及び災害救済規程の検討方について、

先崎 照雄委員（社会）から、乳牛の病気発生防止対策の考え方、農村電話の見通しについて質疑、意見及び要望があり、農務部長及び家畜衛生監から答弁。

- ④ 大平 秀雄委員（自民）から、余剰米の現況及び対処策、農村工業導入の所管部と連携について  
新村 源雄委員（社会）から、小豆の倉敷金利のたなあげに対する道の考え方について  
質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁。

○12月21日 午後2時30分、第7委員会室において開議、午後3時30分散会、委員長 奈良 敬蔵（自民）

#### 一般議事

- ① 請願、陳情について、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の扱いとすること、及び寒地農業確立対策に関する件について、閉会中継続調査の扱いとすることをはかり、異議なくそのことに決定。
- ② 委員長から、昭和48年度開発予算に関する中央折衝の実施についてはかり、異議なくそのことに決定。実施時期及び派遣委員等については、委員長に一任することとした。
- ③ 高橋 正四郎委員（自民）から、災害対策に関し、道北地方の被害状況、自家発電機に対する助成の考え、北電の態度に対する見解及び見舞金支出の要請方について、先崎 照雄委員（社会）から、発電機に対する助成の検討方、北電に対する積極的な指導方について、新村 源雄委員（社会）から、北電の措置の妥当性について、大方 春一委員（社会）から、北電に対する警告の取扱いについて  
質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁、委員長から応答。
- ④ 新村 源雄委員（社会）から、小豆の生産過剰に対する方策、大豆の最低価格に対する検討の必要性、豆基金協会に対する出資金の上積み措置について、大方 春一委員（社会）から、昭和48年の米生産調整に対する基本的考え方について  
質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁。

### 建設委員会

○12月5日 午前11時18分、第4委員会室において開議、午後零時42分散会、委員長 高橋 辰夫（自

民)

## 一 般 議 事

- ① 委員長から、さきの委員会において要求のあった地方道路公社に関する資料の提出があった旨を報告。
- ② 委員長から、さきに実施した都市環境施設の整備に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なくこれを了承。
- ③ 土木部長及び住宅都市部長から、11月及び12月における低気圧による災害状況についてそれぞれ説明。
- ④ 土木部長及び住宅都市部長から、第4回定例会提出予定案件についてそれぞれ説明の後、  
笠島 保委員（社会）から、北海道土地開発公社に関する説明資料、届け出を怠った場合の罰則、出資額の妥当性及び既存公社との関連、職員及び機構並びに事務の窓口と支庁との関連、理事長及び役員の考え方、推進委員会の構想と業務執行の関連、用地買収の一元化の考え、業務内容の確定時期等について、  
合坪 正三委員（社会）から、市町村振興公社との関連、企業局との業務の関連、公有水面、広域開発、自然破壊等への配慮の必要性について、  
委員長から、理事長及び役員の人事構成について質疑、意見及び要求があり、住宅都市部長から答弁。議事進行の都合により午後零時30分休憩、午後零時34分再開。
- ⑤ 鈴木 誠二委員（社会）から、宅建業に係る新聞記事の経過と指導監督体制について  
質疑、意見及び要望があり、住宅都市部長から答弁。

○12月22日 午後6時35分、第4委員会室において開議、  
午後6時44分散会、委員長 高橋 辰夫（自民）

## 付託案件の審査

- ① 議案第28号（財団法人北海道開発用地公社の北海道土地開発公社（仮称）への組織変更に関する件）、議案第29号（北海道道の路線の認定及び廃止に関する件）及び議案第30号（河川法に基づく1級河川の指定等についての意見に関する件）を順次議題とし、住宅都市部長及び土木部長からそれぞれ説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。
- ② 議案第31号及び第32号（いずれも財産の処分に関する件）を一括議題とし、土木部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。
- ③ 報告第2号（専決処分報告につき承認を求める件）を議題とし、住宅都市部長から説明の後、異議なく承認議決とすることに決定。付託議案に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

## 一 般 議 事

- ① 請願、陳情について、今後付託されるものを含め、

閉会中継続審査の扱いとすること、及び地方道整備促進に関する件ほか3件について、閉会中継続調査の扱いとすることをはかり、異議なくそのことに決定。

- ② 委員長から、昭和48年度国費予算に関する中央折衝の実施についてははかり、異議なくそのことに決定。実施時期、派遣委員等については、委員長に一任することとした。

## 農 地 開 拓 委 員 会

○12月12日 午後零時5分、第2委員会室において開議、  
午後零時35分散会、委員長 笠井 幸衛（社会）

## 一 般 議 事

- 農地開発部長から、第4回定例会提出予定案件について説明。

○12月21日 午後1時30分、第2委員会室において開議、  
午後2時35分散会、委員長 笠井 幸衛（社会）

## 付託案件の審査

- 議案第19号（国営土地改良事業負担金徴収条例の一部を改正する条例案）を議題とし、農地開発部長から説明の後、質疑なく、異議なく原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

## 一 般 議 事

- ① 請願、陳情について、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の扱いとすること、及び農地開拓事業推進の件ほか1件について、閉会中継続調査の扱いとすることをはかり、異議なくそのことに決定。
- ② 委員長から、昭和48年度国費予算に関する中央折衝の実施についてははかり、異議なくそのことに決定。実施時期、派遣委員等については、委員長に一任することとした。
- ③ 堀田 毅委員（自民）から、開拓会館の運営状況、開拓協会の会館引受け能力について、  
奥野 善造委員（自民）から、道関連の負債内容について、  
松本 響委員（自民）から、開拓協会の設立及び道関連負債に対する道費支出の妥当性について、  
小堀 秀次委員（社会）から、標茶開協の不祥事件の事実及び中金の融資の妥当性、職員の派遣及び再建方について  
質疑、意見及び要望があり、農地開発部長から答弁。

## 本日聴取した陳情

道関連再編整理事業等について

北海道開拓者連盟委員長  
北海道開拓農業協同組合連合会会長理事  
北海道開拓融資保証協会専務理事

## 水産委員会

○12月12日 午前11時58分、第6委員会室において開議、  
午後零時23分散会、委員長 佐々木 豊（自  
民）

### 一般議事

- ① 水産部長から、第4回定例会提出予定案件について説明。
- ② 水産部長から、11月及び12月初旬の低気圧による水産関係被害状況と復旧対策について説明の後、  
大内 三治委員（自民）から、災害被害状況等に関する具体的資料について、  
原 清重委員（社会）から、漁港建設に際し、災害防止に対する配慮の必要性及び建設方法について質疑、意見及び要求があり、水産部長から答弁。

### 本日聴取した陳情

北電伊達火力発電所建設に伴う海岸埋立て工事の認可反対について

有珠漁業協同組合長

○12月21日 午後1時31分、第6委員会室において開議、  
午後1時37分散会、委員長 佐々木 豊（自  
民）

### 付託案件の審査

- 議案第25号（漁業協同組合の整備促進助成等に関する条例を廃止する等の条例案）を議題とし、水産部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

### 一般議事

- ① 請願、陳情について、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の扱いとすること、及び沿岸漁家振興対策の件について、閉会中継続調査の扱いとすることをはかり、異議なくそのことに決定。
- ② 委員長から、昭和48年度水産関係国費予算に関する中央折衝の実施については、異議なくそのことに決定。実施時期、派遣委員等については、委員に一任することとした。

## 文教林務委員会

○12月2日 午後零時18分、第10委員会室において開議、  
午後零時38分散会、委員長 青木 力（社会）

開議に先立ち、故林謙二委員（道政ク）に対する黙祷を行なった。

### 請願、陳情の審査

#### 請願

第102号 高等学校の非常勤講師（時間講師）の待遇改善の件（採択）

### 一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した他府県の文教林務事情の調査並びに昭和48年度国の文教施策に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なくこれ了承。
- ② 教育長から、昭和48年度公立高校適正配置計画について説明の後、  
熊谷 克治委員（社会）から、長期見通しに立った計画の有無と構想の必要性、美瑛高校の間口減の現状及び5年間の生徒の動き、並びに入学者の出身地別内訳と今後の見通し、昭和48年度の全道学区別収容率、全定別、学科別、公私別の収容定員の資料について質疑、意見及び要望並びに要求があり、教育長から答弁。

### 本日聴取した陳情

美瑛高等学校の間口について

美瑛町教育を守る会事務局長

○12月12日 午後2時11分、第10委員会室において開議、  
午後2時42分散会、委員長 青木 力（社会）

### 一般議事

- ① 教育長、林務部長及び学事課長から、第4回定例会提出予定案件についてそれぞれ説明。
- ② 教育長から、昭和48年度公立高校適正配置計画について説明の後、  
諏訪田 勝衛委員（社会）から、間口減に対する産炭地、過疎地域の特例の有無、美瑛町との話合いと合意の見通し等について  
質疑及び意見があり、教育長から答弁の後、議事進行の都合により午後2時30分休憩、午後2時40分再開。  
委員長から、さきに要求のあった美瑛高校定時制課程に関する資料等の提出があった旨を報告。ついで、美瑛高校間口減に対する取扱いについて要請。

○12月13日 午後3時10分、第10委員会室において開議、  
午後3時24分散会、委員長 青木 力（社会）

### 付託案件の審査

- 議案第22号（北海道学校職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案）及び議案第23号（市町村立学校職員給与負担法に規定する学校職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案）を一括議題とし、教育長から説明の後、

熊谷 克治委員（社会）から、研修手当及び特殊学校の寮母手当新設の必要性、給与調整額の引上げについて

質疑及び意見があり、教育長から答弁があつて、異議なく原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

○12月22日 午後零時50分、第10委員会室において開議、午後零時57分散会、委員長 青木 力(社会)

#### 付託案件の審査

○ 議案第20号（北海道立学校設置条例の一部を改正する条例案）及び議案第21号（北海道立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例案）を順次議題とし、教育長からそれぞれ説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

#### 一般議事

○ 学校教育並びに社会教育の充実促進の件ほか1件について、閉会中継続調査の扱いとすること、及び請願、陳情について、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の扱いとすることをはかり、異議なくそのことに決定。

## 特別委員会

### 総合開発調査特別委員会

○12月22日 午後1時25分、第2委員会室において開議、午後2時45分散会、委員長 奥野 善造（自民）

① 委員長から、林謙二委員（道政ク）の逝去に伴い、津川直一議員（道政ク）が補充選任された旨を報告。ついで、委員の異動に伴う議席の変更についてはかり、異議なく現在着席のとおりとすることに決定。

② 委員の異動に伴う理事の補充についてはかり、異議なく津川直一委員（道政ク）を選任。

③ 開発調整部長から、石狩湾新港建設に伴う漁業補償について説明の後、

影山 豊委員（社会）から、補償金に関する予算の提出時期、補償金の支払い方法と時期、境界変更に関する議会への提案時期、苫小牧東部工業基地建設に伴う漁業補償問題の今後の見通し、港湾区域の早期決定の必要性、浜厚真の漁港移転計画の適否等について、

大方 春一委員（社会）から、石狩湾新港建設に伴う漁業補償が当初提示額より大幅に増額妥結したことの当否等について

質疑、意見及び要望があり、開発調整部長から答弁。

④ 請願、陳情について、閉会中継続審査の扱いとすることをはかり、異議なくそのことに決定。

⑤ 開発調整部長から、昭和48年度北海道開発予算について説明。

⑥ 委員長から、中央情勢を考慮し、昭和48年度道開発予算に関する中央折衝の実施についてはかり、異議なくそのことに決定。実施時期、派遣委員等については、委員長に一任することとした。

⑦ 本間 喜代人委員（共産）から、道財務局発表の「本道経済の回顧と展望」に関連し、第3期計画の抜本的再検討の必要性、道民の意見を集約できる体制確立の必要性、土地の有効利用の確保と地価安定のための国の措置の要請、本州企業進出に対する対応策並びに中小企業の合併、掘けいの促進に対する見解について、

津川 直一委員（道政ク）から、代表質問で指摘した点に対する考え方等について

質疑及び意見があり、開発調整部長から答弁。

### 石炭対策特別委員会

○12月12日 午後3時3分、第8委員会室において開議、午後3時49分散会、委員長 池田 金助（自



民)

① 委員長から、さきに実施した石狩炭鉱災害に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なくこれを了承。

② 商工観光部長から、石狩炭鉱狐沢坑のその後の経過について説明の後、

湯田 倉治委員(社会)から、今後の再建策、三井鉱山社長談話の真意等について、

山科 喜一委員(共産)から、石狩炭鉱に対する融資、損失補償の状況と希望額、合同慰霊祭のあり方、閉山に対する道の態度、救出作業の体制、遺族弔慰金及び居住権に対する取決め状況等について

質疑及び意見があり、商工観光部長及び労働部長から答弁。

③ 工藤 万砂美委員(自民)から、石炭火力発電所建設の見通しと需要確保の考え方、北電の引取り計画量について、

湯田 倉治委員(社会)から、企業誘致の積極的努力方、石炭火力に対する討論の場及び建設数の考え方等について

質疑、意見及び要望があり、商工観光部長から答弁。

○12月22日 午後2時57分、第2委員会室において開議、  
午後3時22分散会、委員長 池田 金助(自民)

① 商工観光部長から、石狩炭鉱のその後の経過について説明の後、

湯田 倉治委員(社会)から、石狩炭鉱の資金不足の内訳、2月以降の資金計画について  
質疑があり、商工観光部長から答弁。

② 委員長から、昭和48年度国費予算に関する中央折衝の実施については、異議なくそのことに決定。実施時期、派遣委員等については、委員長に一任することとした。

③ 請願、陳情について、閉会中継続審査の扱いとすることをはかり、異議なくそのことに決定。

④ 湯田 倉治委員(社会)から、三井鉱山社長発言の確認内容、石狩炭鉱の資金計画、残留者対策等会社との連携の方について、

藤井 虎雄委員(社会)から、電力用炭引取り量の積極的な折衝について  
質疑、意見及び要望があり、商工観光部長から答弁。

## 北方領土対策特別委員会

○12月12日 午後2時20分、第5委員会室において開議、  
午後2時34分散会、委員長 麻里 梯三(自民)

① 委員長から、さきに実施した北方領土復帰促進のつどの状況調査並びに他府県議決要請の概要について報告書により報告、異議なくこれを了承。

② 領対本部長から、北方地域の墓参及び北方領土復帰運動実施計画について説明。

## 公害対策特別委員会

○12月22日 午後9時14分、第2委員会室において開議、  
午後9時33分散会、委員長 堀田 毅(自民)

### 付託案件の審査

① 議案第15号(北海道公害紛争処理条例の一部を改正する条例案)を議題とし、生活環境部長から説明の後、川崎 守委員(共産)から、調停手数料の被害者負担に対する見解等について

質疑、意見及び反対の意思表示があり、生活環境部長から答弁の後、採決に入り、挙手採決の結果、挙手多数(反対共産)にて原案のとおり可決することに決定。

② 議案第27号(北海道苫小牧公害防止センター(仮称)建設事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件)を議題とし、質疑なく、異議なく原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

### その他の議事

① 請願、陳情について、閉会中継続審査の扱いとすることをはかり、異議なくそのことに決定。

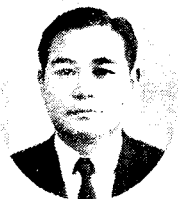
② 委員長から、さきに実施した他府県における公害事情調査の概要について報告書により報告、異議なくこれを了承。

③ 昭和48年度開発予算に関する中央折衝の実施については、異議なくそのことに決定。実施時期、派遣委員等については、委員長に一任することとした。

## 予算特別委員会

○12月18日 午後6時19分、第1委員会室において開議、  
午後6時32分散会、委員長 竹内 重雄(社会)

### 正副委員長の互選



竹内 重雄委員長



作田 政次副委員長

- ① 天谷 平信臨時委員長（自民）から、委員長互選の方法についてはかり、西野実委員（自民）の動議により指名推選の方法により、竹内重雄委員（社会）を委員長に選出。
- ② 委員長から、副委員長互選の方法についてはかり、野中富雄委員（社会）の動議により指名推選の方法により、作田政次委員（自民）を副委員長に選出。
- ③ 本委員会の運営等協議のため午後6時25分休憩、午後6時30分再開。休憩中協議の結果、審査日程は配付の日程表のとおりとすること、質疑の方法は通告の形式により一括してこれを行なうこと、なお、一問一答については委員長に申し出ること、発言の順位は一般質問の例に準ずること等についてはかり、異議なくそのことに決定。
- ④ 本委員会の運営については、自民、社会各2名、道政ク、共産各1名、計6名の理事を選び、その協議によりこれを行なうことをはかり、異議なくそのことに決定。理事には、自民党から小沢栄一委員及び西野実委員、社会党から鈴木誠二委員及び野中富雄委員、道政クから石川十四夫委員、共産党から山科喜一委員をそれぞれ選出。
- ⑤ 委員外議員の発言については、そのつど理事会において協議決定すること、議席については配付の議席表のとおりとすること等をはかり、異議なくそのことに決定。

○12月19日 午前10時35分、第1委員会室において開議、午後5時6分散会、委員長 竹内 重雄（社会）

- ① 民生部所管に対する質疑に入り、  
山家 勇委員（社会）から、保育行政に関し、現況に対する所見、保育単価基準の適否と市町村の超過負担に対する判断及び解消策、施設最低基準と措置費の関連及び補てん策、幼稚園との格差及び公私立間の格差に対する見解と是正策、職員の勤務条件の改善方策、施設整備の必要性、保育料値上げの状況と父母負担軽減に対する考え方、入所基準緩和の必要性、保育所未設置市町村の解消等について、  
影山 豊委員（社会）から、(1)心身障害者対策に関し、実態の把握と収容施設の現況、施設整備の緊要性と取組みの姿勢、来年度予算編成に対する所信、心身障害者実態調査の結果、(2)福祉施設の不正事件に関し、具体的な指導方針と監査体制の整備について、  
青木 力委員（社会）から、社会福祉行政に関し、補正予算計上に当たったの所見、大幅減額の理由及び明細な資料について  
質疑、意見及び要求があり、民生部長から答弁。議事進行の都合により午後零時14分休憩、午後零時18分再

開の後、民生部長から、休憩前の青木委員の要求資料について答弁の後、引き続き、

青木 力委員（社会）から、福祉行政遂行上の基本的な立場、減額補正による行政執行上の影響と出先機関、福祉施設との関連、明年度予算編成の重点事項等について

質疑及び意見があり、民生部長から答弁があって、民生部所管に対する質疑を終結。議事進行の都合により午後零時36分休憩、午後1時43分再開。

- ② 衛生部所管に対する質疑に入り、  
藤井 虎雄委員（社会）から、劇物、毒物の取締りに関し、プリマージ（アルカノールアンモニウム二・四一ジニトロ一六一（一・一メチルプロピル）一フェノラート）の法上の取扱い、表示規制の内容、事故の際の取扱いと取扱い責任者の責任、管理体制の万全方について、

青木 力委員（社会）から、看護婦養成に関し、看護婦不足の現況と充足計画、独立校舎による養成の必要性と旭川市に新設の考え及び国立医大との関連等について、

小野 秀夫委員（道政ク）から、畜犬取締りに関し、その後の経過と検討結果、現状に対する認識、狂犬病予防員の現員と増員の考え及び待遇の改善策、車の配備状況、所有者に対する通知の履行状況、放飼いに対する方策、道独自の取締り条例設定の検討経過等について

質疑、意見及び要望があり、衛生部長から答弁があって、衛生部所管に対する質疑を終結。理事者交替のため午後3時16分休憩、午後3時20分再開。

- ③ 商工観光部及び労働部所管に対する質疑に入り、  
鈴木 誠二委員（社会）から、物価対策に関し、流通面からの物価に対する所見と現体制の妥当性、野菜の日、魚の日に対する予算増額の考えと補助金交付の方法、市町村の協力体制、実施回数拡充の考え等について、

山家 勇委員（社会）から、産炭地振興対策に関し、産炭地域の現状認識、振興のための指導内容、閉山年次の古い地域に対する方策、地域ごとの振興対策と新しい方法の必要性、閉山後のあと処理対策、未償還公営住宅の取扱い、地場企業育成に対する援助措置、石炭以外の地下資源開発に対する指導の必要性等について、

山科 喜一委員（共産）から、(1)地下資源調査所の運営に関し、金属鉱物探鉱促進事業団の広域調査委託旅費と道の出発命令との関連と経過及び措置、各種公社、事業団との関連と事務処理の適正化、(2)中小企業対策に関し、小樽駅前再開発事業に対する見解、札幌市狸小路振興プロジェクトにおける道の具体的ビジョ

ンと予算の裏づけ、積極的な提示の必要性等について質疑、意見及び要望があり、商工観光部長から答弁があって、商工観光部及び労働部所管に対する質疑を終結。議事進行の都合により午後5時1分休憩、午後5時5分再開し、直ちに散会。

○12月20日 午前10時40分、第1委員会室において開議、  
午後5時4分散会、委員長 竹内 重雄（社会）

① 農務部所管に対する質疑に入り、

野中 富雄委員（社会）から、(1)農地の転用許可に関し、5条申請のための必要な要件と近隣住民、漁協の同意を必要とすることの妥当性、(2)道営競馬に関し、勝馬投票券の発売制限の実施状況と指導監督の状況及び今後の適確な実行方について、

藤井 虎雄委員（社会）から、(1)石油たん白飼料に関し、安全性確認まで使用制限する必要性、全農連と製造業者間の契約締結の了知、(2)農薬被害に関し、被害の実態把握、行政管理庁勧告の周知状況と被害報告、表示方法の誤りの原因と実態の究明、農家に対する補償の有無、劇物、毒物取扱いの違法性等について、

川崎 守委員（共産）から、(1)北海道倭成農漁業財団に関し、鹿部村にリハビリテーションを建設する計画の事前了知と指導の内容、財団の財政状況及び土地担保の事実と監督の状況、担保による基本財産の消滅と財団存立要件との関連、調査の遅れと早急な措置の必要性、(2)長万部町の農地転用に関し、第三者所有地の返還の可能性、農民の要望に対する見解等について質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁があって、農務部所管に対する質疑を終結。理事者交替のため午後零時26分休憩、午後零時34分再開。

② 農地開発部所管に対する質疑に入り、

山科 喜一委員（共産）から、浦臼町道管かんがい排水事業に関し、工区ごとにメートル当り工事費に格差のある理由、コンクリートパイル打込み方法の適否、工事施工に対する基本的な姿勢、設計、施工上の所見、農民の疑惑解消策、残材の処理方法と現状及び適正な解決について

質疑、意見及び要望があり、農地開発部長から答弁があって、農地開発部所管に対する質疑を終結。議事進行の都合により午後1時11分休憩、午後2時9分再開。

③ 土木部所管に対する質疑に入り、

武部 勤委員（自民）から、災害予防及び復旧対策に関し、道道知床公園斜里線の災害状況と応急対策のあり方、旧道によるバス運行の見直し、旧道の維持管理者、新道の開通時期と再災害のおそれ、改良工事の

完成見通しと今後の豪雪対策等について、

藤井 虎雄委員（社会）から、産業開発青年隊の廃止に関し、廃止後の考え方、民間協同により行なうことの効果と職業訓練校等との関連及び再検討の必要性等について

質疑、意見及び要望があり、土木部長から答弁があって、土木部所管に対する質疑を終結。理事者交替のため午後2時55分休憩、午後3時3分再開。

④ 住宅都市部所管に対する質疑に入り、

笠島 保委員（社会）から、土地開発公社に関し、公社の発足時期とその妥当性、事業量と予算額、土地開発基金との関連、企業局等の土地先行取得業務との関連及び一元化の考え、従来国の肩代りによる土地先行取得に伴う事務費、人件費の取扱い、公有地拡大法による委託業務と土地先行取得のあり方、公社と議会との関連、公社役員の選任のあり方等について、

影山 豊委員（社会）から、土地開発公社の業務等に関し、土地開発公社と公営企業との関連、国の通達の受けとめ方、住宅供給公社の住宅団地造成との関連、企業局、住宅供給公社と三者の話し合い並びに推進協議会設置の必要性、道内拠点に支所を設置する考え及び専掌課新設の必要性等について、

諏訪田 勝衛委員（社会）から、大麻閉地小、中学校校舎に関し、建設工事の規模、雨もり等の欠陥の事実と調査内容及び措置、施工及び監督上の適否及び道の責任等について

質疑、意見及び要望があり、住宅都市部長から答弁があって、住宅都市部所管に対する質疑を終結。

○12月21日 午前10時38分、第1委員会室において開議、  
午後6時16分散会、委員長 竹内 重雄（社会）

① 生活環境部所管に対する質疑に入り、

鈴木 誠二委員（社会）から、物価問題に関し、現行執行体制の手直しの必要性、卸売り物価上昇に対する受けとめ方、道民の要求の反映、灯油値上げに対する方策と経過及び積極的な対策方について、

青木 力委員（社会）から、公害防止に関し、苫小牧公害防止センターの設置主体と名称、地財法27条、28条の解釈と市町村負担の適否、苫小牧市議会の議決の有無、保健所職員の兼務と適確な業務遂行の可能性、滑里町でん粉工場の浸透池による地下水汚染の事実と設置許可の際の判断及び許可条件、被害関係者との覚書交換の必要性、大雪山縦貫道建設に対する知事意見の性格と適否及びその資料等について、

川崎 守委員（共産）から、工場排水による被害に関し、森町の水産加工場排水によるのり網の被害状況と発生源に対する指導内容、排水規制基準の数値と暫

定的な指導の考え方、条例による発生源の防止措置の必要性等について

質疑、意見及び要望並びに要求があり、生活環境部長から答弁があって、生活環境部所管に対する質疑を終結。理事者交替のため午後零時19分休憩、午後零時22分再開。

② 林務部及び水産部所管に対する質疑に入り、

野中 富雄委員（社会）から、公害に伴う漁業補償に関し、銭亀ほか4漁協の漁業被害の原因及びコンブ減収に対する見解、陳情の内容と今後の生産維持対策等について、

川崎 守委員（共産）から、大型いかつり漁船の取締りに関し、松山管内の違反と取締りの状況、取締り体制強化の考え方、通報体制の適否とルート短絡の必要性、取締り船の常時配備と隻数の増加等について質疑、意見及び要望があり、水産部長から答弁があって、林務部及び水産部所管に対する質疑を終結。議事進行の都合により午後1時10分休憩、午後2時31分再開。

③ 開発調整部及び企業局所管に対する質疑に入り、

青木 力委員（社会）から、(1)道総合開発に関し、開発調整部の給予算額、直轄事業負担金の増加傾向に対する見解、地財法に基づく道の特例による額、農地転用の状況と3期計画への影響、(2)土地対策に関し、総合土地利用基本計画策定のスケジュール、公有地拡大法による市町村土地開発公社の設置数及び道土地開発公社との関連並びに苫小牧東部の用地先行取得に対する連けい方法、市街化区域内の先買いの届け出期間と市町村との連絡体制及び予算の裏づけ等について質疑、意見及び要望があり、開発調整部長から答弁があって、開発調整部及び企業局所管に対する質疑を終結。理事者交替のため午後3時35分休憩、午後3時42分再開。

④ 教育委員会所管に対する質疑に入り、

山家 勇委員（社会）から、高校間口に関し、高校全入に対する基本的姿勢、教育の機会均等の原則と間口減との関連に対する見解、間口減の今後の方針、過疎地域における高校教育の展望、間口減による定時制高校の方向、過疎地域における高校の修政策の促進方等について、

熊谷 克治委員（社会）から、(1)特殊教育に関し、道内特殊教育の現状と今後の具体的対策、施設拡充の必要性及び計画の早期完了方、寮母の宿直勤務回数の適否と基準の遵守方、重複障害学級及び幼稚部の寮母定数増の必要性及び具体的な検討方、重度身障児施設の専任教師配置の必要性、修学旅行付添人の基準と特別措置の必要性、(2)公立幼稚園に関し、新設必要幼稚園数の公・私立配分割合の根拠、公・私立の施設、保

母の待遇、父兄負担等の格差、郡部、市部の公・私立のあり方と指導体制及び通園区域設定の必要性、民生部及び総務部との十分な連けい方、市町村との協議並びに父母の意思反映の諮問機関及び推進本部設置の考え、(3)高校の学区制に関し、小学区制の欠陥と学区外入学の実態に対する見解と指導方策、実態調査の検討方について、

本間 喜代人委員（共産）から、必修クラブ活動に関し、クラブ活動に対する所見及び父兄負担に対する見解と指導の考え方、必修移行の基本的な考え方、アンケート調査の結果に対する見解と現場教員との協議の必要性、クラブ活動設備の現状と整備年次計画の考え方、評価、単位への影響の有無等について質疑、意見及び要望があり、教育長から答弁があって、教育委員会所管に対する質疑を終結。理事者交替のため午後5時43分休憩、午後5時46分再開。

⑤ 公安委員会所管に対する質疑に入り、

青木 力委員（社会）から、風俗営業等取締法施行条例の一部改正案に関し、モーテル施設及び全道区域の全部規制をしなかった理由、施設基準と規制との関連、他の都府県条例の事例、旅館業法による営業許可と規制による影響及び今後の執行体制等について質疑、意見及び要望があり、道警本部長及び防犯部長から答弁があって、公安委員会所管に対する質疑を終結。

○12月22日 午前10時27分、第1委員会室において開議、  
午後8時3分閉会、委員長 竹内 重雄（社会）

① 総務部所管に対する質疑に入り、

熊谷 克治委員（社会）から、(1)私立高校授業料に関し、私立高校管理運営費補助金の行政効果及び私学助成の基本的な考え方、私学側の要求額との関連と値上げ抑制の効果、私学経営の長期的安定計画の内容、(2)私立幼稚園に関し、経営の実態と納付金等の値上げの状況及び抑制策、市町村の助成に対する指導と市町村への助成の必要性、幼児教育5カ年計画の推進策等について、

青木 力委員（社会）から、(1)土地開発公社に関し、出資額の根拠と事業計画の内容、出資団体に対する指導の考え方、市町村土地開発公社との関連と調整策、議案撤回の意思、(2)補正予算に関し、減額補正の理由、需用費の減額内容と予算執行上改善すべき点、来年度予算編成の基本的な考え方、道税収入の当初見積りの適否、個人道民税の減税の考え、道財務局発表の「道経済の回顧と展望」に対する見解、(3)大雪山縦貫道路建設に関し、知事の意見書に対する考え方について、

山科 喜一委員（共産）から、(1)道開発に関し、道財務局発表の「本道経済の回顧と展望」に対する見解及び地方財政の強化に対する考え方、(2)米軍の北爆再開に関し、部長の見解、(3)真駒内自衛隊基地に関し、移転の必要性及び都市計画上の考え方、戦車通行に伴う騒音防止措置等について

質疑、意見及び要望があり、総務部長から答弁があって、総務部所管に対する質疑を終結。議事進行の都合により午後零時10分休憩、午後3時30分再開。

② 知事に対する総括質疑に入り、

青木 力委員（社会）から、(1)道の減税政策に関し、道税収入の税目別推移と個人道民税軽減に対する見解、市町村税の超過課税解消措置の継続の考え、工場再配置税に対する見解、(2)大雪山縦貫道建設に関し、知事の意見書提出の考え方と関係機関の意見聴取の必要性、今後の取扱いに対する見解、(3)苫小牧公害防止センターに関し、設置主体と市負担金に対する見解、兼務職員数と業務遂行上の影響、施設設備の妥当性、48年度の人員、資材等の整備方針、今後の運営方針と市との関連等について、

山科 喜一委員（共産）から、(1)米軍の北爆再開に関し、知事の見解及び明示の必要性、外務大臣の見解に対する考え方、(2)真駒内自衛隊基地に関し、移転の必要性とあと地払下げの見解、市との連けいの考え方と国への折衝方針、精進川の改修及び橋梁かけ換えの理由と利用状況等について

質疑、意見及び要望があり、知事から答弁。議事進行の都合により午後4時38分休憩、午後5時40分再開。

笠島 保委員（社会）から、土地開発公社に関し、理事長内定の報道の事実と所見、議案提出時期と事業内容、用地開発公社との引継ぎ内容等の明確化、将来計画、先行取得業務の一元化、公社の業務範囲等整理する必要性、苫小牧東部住宅団地の買収業務のあり方、事業計画、決算等を議会承認事項とする必要性、監査体制の強化の考えと増員の必要性、法第17条に基づく委託業務に対する衆参両院の付帯決議と道の基本的態度、公社役職員刷新の必要性等について

質疑、意見及び要望があり、知事から答弁があって、知事に対する総括質疑を終結。

③ 委員長から、付託案件に対する意見調整について、各派代表者会議において行なうことをはかり、異議なくそのことに決定。意見調整のため午後6時16分休憩、午後7時55分再開。

④ 委員長から、各派代表者会議における意見調整の結果、議案第1号、第5号、第9号ないし第12号及び第26号については、ついに意見の一致をみなかった旨を報告の後、議案第1号、第5号、第9号ないし第12号

及び第26号を一括議題とし、討論なしと認め、直ちに採決に入り、起立による採決の結果、起立多数（反対共産）にて原案のとおり可決することに決定。

次に、議案第2号ないし第4号、第6号ないし第8号、第33号及び報告第1号を一括議題とし、異議なく議案については原案可決、報告については承認議決とすることに決定。

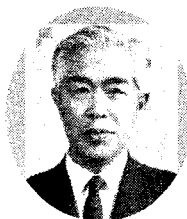
ついで、鈴木誠二委員（社会）から、本委員会の審議の経過にかんがみ、議案第1号について次の附帯意見（委員長報告参照）を委員長報告に挿入されたい旨の動議を提出、賛成あって動議成立、起立による採決の結果、起立多数（反対共産）にてこれを可決。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

⑤ 委員長から、付託案件に対する審査終了のあいさつがあった。

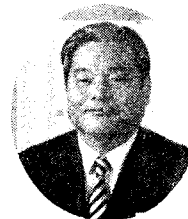
## 企業会計決算特別委員会

○10月13日 午後1時54分、第2委員会室において開議、  
午後2時4分散会、委員長 合坪 正三（社会）

### 正副委員長の互選



合坪 正三委員長



渡部 五郎副委員長

① 福島 新太郎臨時委員長（自民）から、委員長互選の方法についてははかり、若狭靖委員（自民）の動議により指名推選の方法により、合坪正三委員（社会）を委員長に選出。

② 委員長から、副委員長互選の方法についてははかり、桜井勝広委員（社会）の動議により指名推選の方法により、渡部五郎委員（自民）を副委員長に選出。

③ 今後の運営等協議のため午後2時休憩、午後2時2分再開。休憩中協議の結果、本委員会の運営については、自民及び社会各2名、道政ク及び共産各1名、計6名の理事を選び、その協議により行なうことをはかり、異議なくそのことに決定。理事には、自民党から大平秀雄委員及び松本響委員、社会党から桜井勝広委員及び奥野一雄委員、道政クラブから小野秀夫委員、共産党から木南貫一委員をそれぞれ選出。

④ 本委員会の今後の運営等については、理事会におい

て協議することに決定。

- ⑤ 申合せ事項（1委員の交替は、原則として認めないこと。2質問は、通告制とすること。3資料要求については、あらかじめ理事会において検討し、委員会の決定により行なうこと。4委員の割当のない諸派の議員から、委員外議員発言の申し出があった場合には、委員会の決定により、委員の通告質疑終了後に発言を許可する。なお、資料要求は認めないこと。）については、異議なくそのように決定。

○10月20日 午後零時42分、第1委員会室において開議、  
午後零時44分散会、委員長 合坪 正三（社会）

- ① 議席については、異議なく現在着席のとおりとすることに決定。
- ② 審査日程については、異議なく配付の日程表のとおりとすることに決定。
- ③ 決算審査のため必要な資料については、異議なく職員定数並びに現在員調ほか51項目を要求することに決定。
- ④ 報告第1号ないし第7号について、閉会中継続審査の扱いとすることを、異議なくそのことに決定。
- ⑤ 10月23日から30日まで委員会を開かず、書面審査を行なうことに決定。

○10月31日 午後1時7分、第1委員会室において開議、  
午後1時53分散会、委員長 合坪 正三（社会）

- ① 報告第1号ないし第7号を一括議題とし、衛生部長から報告第1号（昭和46年度北海道病院事業会計決算に関する件）について、林務部長から報告第2号（昭和46年度北海道有林野事業会計決算に関する件）について、住宅都市部長から報告第3号（昭和46年度北海道北広島団地開発事業会計決算に関する件）について、企業局長から報告第4号（昭和46年度北海道電気事業会計決算に関する件）、報告第5号（昭和46年度北海道工業用水道事業会計決算に関する件）、報告第6号（昭和46年度北海道有料道路事業会計決算に関する件）及び報告第7号（昭和46年度北海道工業団地開発事業会計決算に関する件）について、代表監査委員から企業会計決算に対する審査意見についてそれぞれ説明。
- ② 委員長から、10月20日の委員会決定に基づく資料の提出があった旨を報告。
- ③ 11月1日から6日まで委員会を開かず、書面審査を行なうことに決定。
- ④ 桜井 勝広委員（社会）から、審査に必要な現地調

査の実施について

発言があり、異議なく必要に応じて実施することに決定。

○11月7日 午後零時16分、第1委員会室において開議、  
午後零時18分散会、委員長 合坪 正三（社会）

- ① 委員長から、決算審査に必要な資料の追加要求については、異議なく入院・外来収益の単価一覧ほか2項目を要求することに決定。
- ② 今後の審査日程について、次回委員会は11月11日とし、8日から10日までは引き続き書面審査とすることに決定。

○11月11日 午前11時21分、第1委員会室において開議、  
午前11時23分散会、委員長 合坪 正三（社会）

- ① 委員長から、11月7日の委員会決定に基づく追加要求資料の提出があった旨を報告。
- ② 委員長から、決算審査に必要な資料の追加要求については、異議なく団地計画と達成内容ほか1項目を要求することに決定。
- ③ 審査日程の一部変更について決定。

○11月12日 午後3時3分、第1委員会室において開議、  
午後3時4分散会、委員長 合坪 正三（社会）

- ① 委員長から、11月11日の委員会決定に基づく追加要求資料の提出があった旨を報告。
- ② 今後の審査日程について、異議なく配付のとおりとすることに決定。

○12月14日 午前11時17分、第1委員会室において開議、  
午後2時56分散会、委員長 合坪 正三（社会）

- ① 報告第2号（昭和46年度北海道有林野事業会計決算に関する件）を議題とし、林務部所管に対する質疑に入り、  
桜井 勝広委員（社会）から、道有林野事業における治山・治水のあり方、大幅赤字と基金使用の根拠、第2次5カ年計画の事業、財政計画策定の基本的考え、受贈財産評価額の内容、道東林道移管の経緯と道有林事業への移管の理由、道有林野事業における請負に対する考え方及び請負における労働条件の展望、林業労働の季節的浮動性排除の施策、林務署の欠員不補充の理由と労働条件への影響、木材価格変動への対応策、前回決算審査の附帯意見に対する措置状況等について質疑、意見及び要望があり、林務部長から答弁。議事

進行の都合により午後零時22分休憩、午後1時36分再開。ついて、

木南 貫一委員（共産）から、森林の諸機能に対する考え方、植伐計画のバランス、伐採増によらない赤字解消策等について

質疑、意見及び要望があり、林務部長から答弁があって、林務部所管に対する質疑を終結。理事者交替のため午後1時53分休憩、午後1時56分再開。

- ② 報告第1号（昭和46年度北海道病院事業会計決算に関する件）を議題とし、衛生部所管に対する質疑に入り、

星野 健三委員（社会）から、医師、エックス線技師の欠員の理由及び看護婦欠員による影響並びに非常勤職員定数化の意思、病院間の医療費用・収益及び外来・入院費用単価の格差、医師定数増の考え、薬品購入時の添付薬品に対する考え、医業外収益による医療の十全性、従前の決算審査の附帯意見に対する措置状況等について、

木南 貫一委員（共産）から、入院助産制度の取扱いに対する考え方、病院給食に対する基本的考え方等について

質疑、意見及び要望があり、衛生部長から答弁があって、衛生部所管に対する質疑を終結。

- 12月19日 午前11時1分、第1委員会室において開議、午後2時57分散会、委員長 合坪 正三（社会）

- ① 報告第3号（昭和46年度北海道北広島閉地開発事業会計決算に関する件）を議題とし、住宅都市部所管に対する質疑に入り、

大浦 貞助委員（社会）から、取水計画と地下水くみ上げによる地盤沈下対策、道路計画及び用地計画達成状況等について、

木南 貫一委員（共産）から、あき家の多い原因、住宅適地に対する考え方等について

質疑、意見及び要望があり、住宅都市部長から答弁があって、住宅都市部所管に対する質疑を終結。理事者交替のため午後零時17分休憩、午後1時33分再開。

- ② 報告第4号（昭和46年度北海道電気事業会計決算に関する件）、報告第5号（昭和46年度北海道工業用水道事業会計決算に関する件）、報告第6号（昭和46年度北海道有料道路事業会計決算に関する件）及び報告第7号（昭和46年度北海道工業団地開発事業会計決算に関する件）を一括議題とし、企業局所管に対する質疑に入り、

奥野 一雄委員（社会）から、道営電気事業の目的、成果及び将来の展望、料金固定の是非及び改訂交渉における姿勢、企業償還完了と料金原価との関連

等について、

桜井 勝広委員（社会）から、二股発電所の管理の一元化について、

大浦 貞助委員（社会）から、有料道路に関し、47年度通行台数実績と決算における欠損金との関連、償還期間変更の内容と期間の確定等について、

星野 健三委員（社会）から、水道事業会計における累積赤字の経過と解消策の早期決定、苫東基地及び石狩新港用地における買取単価の格差の理由、正確な資料の提出方等について、

木南 貫一委員（共産）から、苫東基地土地問題をめぐるクオリティの記事に対する見解について

質疑、意見及び要望並びに要求があり、企業局長から答弁があって、企業局所管に対する質疑を終結。

- ② 委員長から、報告第1号ないし第7号に対する意見調整を各派代表者会議において行なうことをはかり、異議なくそのことに決定。

- 12月20日 午後1時49分、第2委員会室において開議、午後1時53分閉会、委員長 合坪 正三（社会）

- ① 委員長から、苫小牧東部及び石狩湾新港の用地買取計画に関する資料の提出があった旨並びに各派代表者会議における意見調整の結果、報告第4号ないし第7号については、ついに意見の一致をみなかった旨を報告。

- ② 報告第4号ないし第7号を一括議題とし、討論なしと認め、直ちに採決に入り、起立による採決の結果、起立多数（反対共産）にて報告第4号、第6号及び第7号については認定議決、第5号については意見を付し認定議決と決定。次に報告第1号ないし第3号を一括議題とし、異議なく報告第1号及び第2号は認定議決、報告第3号については意見を付し認定議決と決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

- ③ 委員長から、付託案件に対する審査終了のあいさつがあった。

# 資 料

## 第33回衆議院議員総選挙結果

第33回（戦後12回目）衆議院議員総選挙は、昭和47年11月20日公示され、12月10日の投票日をめぐり、全国124の選挙区において、70年代初の総選挙に入った。

立候補届け出締切りの11月21日には、895人が立候補し、491の議席数に対し競争率は1.82倍（本道は、22人の定数に対し36人が立候補し、競争率は1.64倍）と戦後最低を記録、各選挙区ともかつてない少数激戦が続けられ、12月10日の投票の結果（投票率＝全国71.76％、本道76.20％）、新しい顔ぶれが確定した。

都道府県別党派別当選者数及び道内における投票結果は、次のとおりである。

第1表 全国党派別最終得票

		得票数	比率(%)	前回の比率(%)
自	民	24,563,078	46.86	47.63
社	会	11,478,600	21.90	21.44
共	産	5,496,697	10.49	6.81
公	明	4,436,631	8.46	10.91
民	社	3,659,922	6.98	7.74
無	所	2,645,530	5.04	5.30
諸	派	143,019	0.27	0.17
		52,423,477	100.00	100.00

第2表 道内党派別当選者数

		党派別立候補者数					党派別当選者数					
		計	前	元	新	解散時の議席			計	前	元	新
自	民	13	11	0	2	12	自	民	11	10	0	1
社	会	10	6	2	2	7	社	会	9	5	2	2
民	社	2	1	0	1	1	民	社	1	1	0	0
公	明	2	2	0	0	2	公	明	0	0	0	0
共	産	5	0	0	5	0	共	産	1	0	0	1
無	所	4	0	1	3	0	無	所	0	0	0	0
合	計	36	20	3	13	22	合	計	22	16	2	4



第3表

## 都道府県別党派別当選者数

	(区)	(定数)	自民	社会	共産	公明	民社	諸派	無所属
北海道	(5)	(22)	11	9	1	0	1	0	0
青森	(2)	(7)	5	1	1	0	0	0	0
岩手	(2)	(8)	5	3	0	0	0	0	0
宮城	(2)	(9)	6	2	1	0	0	0	0
秋田	(2)	(8)	5	2	1	0	0	0	0
山形	(2)	(8)	5	3	0	0	0	0	0
福島	(3)	(12)	10	2	0	0	0	0	0
茨城	(3)	(12)	9	3	0	0	0	0	0
栃木	(2)	(10)	6	3	0	0	1	0	0
群馬	(3)	(10)	7	3	0	0	0	0	0
埼玉	(4)	(13)	8	3	1	1	0	0	0
千葉	(3)	(13)	9	2	1	0	0	0	1
東京都	(10)	(39)	13	7	10	6	1	0	2
神奈川県	(3)	(14)	5	3	3	2	1	0	0
新潟	(4)	(15)	10	5	0	0	0	0	0
富山	(2)	(6)	2	2	0	0	0	0	2
石川	(2)	(6)	5	1	0	0	0	0	0
福井	(1)	(4)	3	1	0	0	0	0	0
山梨	(1)	(5)	3	2	0	0	0	0	0
長野	(4)	(13)	7	4	1	0	1	0	0
岐阜	(2)	(9)	7	2	0	0	0	0	0
静岡	(3)	(14)	8	3	1	1	1	0	0
愛知	(6)	(20)	9	6	0	1	3	0	1
三重	(2)	(9)	6	2	0	1	0	0	0
滋賀	(1)	(5)	4	0	1	0	0	0	0
京都	(2)	(10)	3	2	3	0	2	0	0
大阪	(6)	(23)	7	4	6	6	0	0	0
兵庫県	(5)	(19)	9	4	2	3	1	0	0
奈良	(1)	(5)	3	1	0	1	0	0	0
和歌山	(2)	(6)	3	1	1	1	0	0	0
鳥取	(1)	(4)	2	1	0	0	0	0	1
島根	(1)	(5)	4	1	0	0	0	0	0
岡山	(2)	(10)	6	3	0	1	0	0	0
広島	(3)	(12)	8	3	0	0	1	0	0
山口	(2)	(9)	6	2	0	0	1	0	0
徳島	(1)	(5)	3	1	0	1	0	0	0
香川	(2)	(6)	4	2	0	0	0	0	0
愛媛	(3)	(9)	6	2	0	0	0	0	1
高知	(1)	(5)	3	1	1	0	0	0	0
福岡	(4)	(19)	5	4	3	2	3	0	2
佐賀	(1)	(5)	4	1	0	0	0	0	0
長崎	(2)	(9)	5	2	0	1	1	0	0
熊本	(2)	(10)	6	2	0	1	0	0	1
大分	(2)	(7)	5	2	0	0	0	0	0
宮崎	(2)	(6)	3	2	0	0	1	0	0
鹿児島	(4)	(11)	6	2	0	0	0	0	3
沖縄	(1)	(5)	2	1	0	0	0	2	0
計	(124)	(491)	271	118	38	29	19	2	14

第4表

衆議院議員総選挙投票結果調

(昭和47年12月10日執行)

市、区、支所別	選挙当日の有権者数		投票者数		棄権者数		投票率(%)		前回投票率(%)
	男	女	男	女	男	女	男	女	
<b>第1区</b>									
中央区	67,946	75,643	143,589	96,564	22,440	24,585	66.97	67.50	67.25
北區	47,899	48,652	96,551	65,190	15,676	15,685	67.27	67.76	67.52
東區	59,279	59,708	118,987	81,101	19,215	18,671	67.59	68.73	68.16
白石区	58,508	59,386	117,894	81,113	18,683	18,098	68.07	69.52	68.80
豊平区	53,523	53,900	107,423	72,040	18,315	17,068	65.78	68.33	67.06
南区	31,599	30,081	61,680	46,130	7,858	7,692	75.13	74.43	74.79
西区	51,893	54,313	106,206	73,708	15,606	16,892	69.93	68.90	69.40
計	370,647	381,683	752,330	515,846	117,793	118,691	68.22	68.90	68.57
小樽市	60,909	71,747	132,656	101,061	14,294	17,301	76.53	75.89	76.18
江別市	22,276	23,307	45,583	35,207	5,094	5,282	77.13	77.34	77.24
千歳市	21,030	17,194	38,224	29,716	4,231	4,277	79.88	75.13	77.74
恵庭市	12,474	11,100	23,574	19,043	2,164	2,367	82.65	78.68	80.78
石狩支庁	17,483	18,107	35,590	27,873	3,694	4,023	78.87	77.78	78.32
後志支庁	47,574	53,437	101,011	80,353	9,638	11,020	79.74	79.38	79.55
小計	552,398	576,575	1,128,968	809,089	156,908	162,961	71.59	71.74	71.67
<b>第2区</b>									
旭川市	99,079	106,971	206,050	153,429	24,755	27,866	75.01	73.95	74.46
留萌市	12,454	13,296	25,750	19,577	2,933	3,240	76.45	75.63	76.03
雄内市	17,348	18,229	35,577	26,366	4,615	4,596	73.40	74.79	74.11
七尾市	10,360	11,491	21,851	17,184	2,306	2,361	77.74	79.45	78.64
寄市	11,657	11,981	23,638	18,449	2,394	2,795	79.46	76.67	78.05
富良野市	9,343	10,448	19,791	16,096	1,661	2,034	82.22	80.53	81.33
上川支庁	51,311	55,742	107,053	89,522	8,452	9,079	83.53	83.71	83.62
留萌支庁	19,677	21,965	41,642	34,173	3,667	3,802	81.36	82.69	82.06
宗谷支庁	17,362	18,498	35,860	29,767	3,163	2,930	81.78	84.16	83.01
小計	248,591	268,621	517,212	404,562	52,946	58,763	78.30	78.15	78.22
<b>第3区</b>									
函館市	74,221	89,108	163,329	121,360	18,492	23,477	75.09	73.65	74.30
亀田市	18,869	20,473	39,342	29,211	4,464	5,667	76.34	72.32	74.25

渡島支庁 61,430 127,595 47,645 52,967 100,612 13,785 13,198 26,983 77,56 80,05 78,85 72,45  
 松山支庁 25,626 53,369 20,591 22,923 43,514 5,035 4,820 9,855 80,35 82,63 81,53 75,53  
 小計 180,146 383,625 138,370 156,327 294,697 41,776 47,162 88,938 76,81 76,82 76,82 66,32

第4区

室蘭市 53,237 108,140 41,581 42,604 84,185 11,656 12,299 23,955 78,11 77,60 77,85 68,64  
 夕張市 22,284 45,868 17,145 17,373 34,518 5,139 6,211 11,350 76,94 73,66 75,26 65,71  
 岩見沢市 22,598 47,298 17,600 18,565 36,165 4,998 6,135 11,133 77,88 75,16 76,46 69,04  
 苫小牧市 38,017 76,400 28,677 29,197 57,874 9,340 9,186 18,526 75,43 76,07 75,75 69,24  
 美唄市 13,734 29,363 10,624 11,692 22,316 3,110 3,937 7,047 77,36 74,81 76,00 69,69  
 芦別市 13,163 27,512 10,284 10,971 21,255 2,879 3,378 6,257 78,13 76,46 77,26 68,60  
 赤平市 10,918 22,751 8,326 8,766 17,092 2,592 3,067 5,659 76,26 74,08 75,13 71,44  
 三笠市 9,692 20,724 7,662 8,475 16,137 2,030 2,557 4,587 79,05 76,82 77,87 70,01  
 滝川市 15,947 32,893 12,227 12,755 24,982 3,720 4,191 7,911 76,67 75,27 75,95 66,12  
 砂川市 8,136 17,022 6,630 7,240 13,870 1,506 1,646 3,152 81,49 81,48 81,48 72,42  
 歌志内市 4,840 10,188 3,753 3,916 7,669 1,087 1,432 2,519 77,54 73,22 75,27 72,82  
 深川市 11,987 25,399 9,732 10,783 20,515 2,255 2,629 4,884 81,19 80,40 80,77 75,25  
 登別市 15,338 31,192 12,128 12,624 24,752 3,210 3,230 6,440 79,07 79,63 79,35 72,27  
 伊達市 9,857 20,836 8,033 8,697 16,730 1,824 2,282 4,106 81,50 79,21 80,29 72,99  
 空知支庁 47,987 101,079 41,036 44,675 85,711 6,951 8,417 15,368 85,51 84,15 84,80 78,87  
 胆振支庁 26,915 56,210 22,294 23,904 46,198 4,621 5,391 10,012 82,83 81,60 82,19 80,62  
 日高支庁 33,751 69,493 27,426 29,097 56,523 6,325 6,645 12,970 81,26 81,41 81,34 76,60  
 小計 358,401 742,868 285,158 301,334 586,492 73,243 82,633 155,876 79,56 78,48 79,00 72,35

第5区

釧路市 63,782 130,833 46,121 47,431 93,552 17,661 19,620 37,281 72,31 70,74 71,50 66,93  
 帯広市 44,384 90,980 32,994 33,778 66,772 11,390 12,818 24,208 74,34 72,49 73,39 72,72  
 北見市 27,480 57,313 22,240 23,859 46,099 5,240 5,974 11,214 80,93 79,98 80,43 76,97  
 網走市 13,461 28,402 10,588 11,216 21,804 2,873 3,725 6,598 78,66 75,07 76,77 73,62  
 紋別市 11,154 23,476 8,569 9,308 17,877 2,585 3,014 5,599 76,82 75,54 76,15 70,85  
 根室市 13,629 28,385 8,624 8,184 16,808 5,005 6,572 11,577 63,28 55,46 59,21 55,29  
 網走支庁 66,856 139,500 57,916 61,398 119,314 8,940 11,246 20,186 86,63 84,52 85,53 82,94  
 十勝支庁 64,787 134,428 56,691 60,085 116,776 8,096 9,556 17,652 87,50 86,28 86,87 84,96  
 釧路支庁 28,927 30,088 59,015 23,276 46,006 6,197 6,812 13,009 78,58 77,36 77,96 77,55  
 根室支庁 16,570 33,070 12,879 12,297 25,176 3,691 4,203 7,894 77,72 74,53 76,13 73,94  
 小計 351,630 374,372 279,352 290,832 570,184 71,678 83,540 155,218 79,58 77,69 78,60 76,19  
 合計 1,690,561 1,807,024 1,293,010 1,372,025 2,665,035 397,551 434,989 832,550 76,48 75,93 76,40 67,80  
 市部計 1,164,305 1,238,365 2,402,670 859,009 904,508 1,763,517 305,296 333,857 639,153 72,78 73,04 63,02  
 郡部計 526,256 568,659 1,094,915 434,001 467,517 901,518 92,255 101,142 193,397 82,47 82,21 76,13

第5表

候補者別得票数調査

第1区 (定員5人)

(氏名の太字は、当選者を示す。)

届出番号	1	2	3	4	5	6	7	8	有効投票	無効投票	合計
市町村名	南 道郎 (民社新)	齊藤 実 (公明前)	地崎宇三郎 (自民前)	島本 虎三 (社会前)	横路 孝弘 (社会前)	みのわ (自民前)	スハラ正一 (無所属元)	多田 光雄 (共産新)			
札幌市 中央区	7,999	10,261	18,108	11,954	13,607	10,485	8,890	14,572	95,876	672	96,548
同 北区	4,701	7,820	8,166	11,047	10,485	5,684	4,350	12,393	64,646	433	65,079
同 東区	6,273	10,091	9,763	12,793	13,926	7,881	5,613	14,249	80,589	504	81,093
同 白石区	5,499	11,628	10,751	14,386	12,996	5,721	5,118	14,245	80,344	651	80,995
同 豊平区	5,685	8,940	10,238	11,332	10,834	6,915	4,893	12,668	71,505	522	72,027
同 南区	5,946	3,982	6,516	6,964	5,975	7,179	3,776	5,472	45,810	316	46,126
同 西区	5,400	8,918	9,801	13,614	12,907	6,725	4,078	11,768	73,211	480	73,691
計	41,503	61,640	73,343	82,090	80,730	50,590	36,718	85,367	511,981	3,578	515,559
小樽市	3,549	8,135	4,128	29,179	5,958	22,944	9,961	16,677	100,531	530	101,061
江別市	2,656	3,079	3,341	6,526	6,350	5,018	3,016	5,076	35,062	143	35,205
千歳市	2,726	2,851	4,772	2,904	3,282	9,382	1,834	1,734	29,485	229	29,714
恵庭市	1,338	1,563	3,193	1,639	2,513	6,279	945	1,371	18,841	187	19,028
市区計	51,772	77,268	88,777	122,338	98,833	94,213	52,474	110,225	695,900	4,667	700,567
広島町	326	627	910	735	1,001	671	343	594	5,207	43	5,250
石狩町	285	556	1,264	904	925	612	921	471	5,938	24	5,962
当別町	355	565	1,249	1,400	1,253	2,275	1,232	1,268	9,597	64	9,661
新篠津村	36	140	486	158	274	542	701	84	2,421	12	2,433

厚田村	58	308	458	341	214	256	203	82	1,920	10	1,930
浜益村	70	232	312	473	543	583	317	77	2,607	30	2,637
石狩支庁計	1,130	2,428	4,679	4,011	4,210	4,939	3,717	2,576	27,690	183	27,873
島牧村	41	196	210	374	135	485	530	48	2,019	6	2,025
寿都町	108	255	307	722	295	1,155	355	311	3,508	19	3,527
黒松内町	97	208	377	711	268	546	206	445	2,858	25	2,883
蘭越町	172	316	539	992	791	1,313	373	303	4,799	32	4,831
ニセコ町	112	262	331	452	397	708	399	264	2,925	32	2,957
真狩村	53	183	443	216	234	701	174	58	2,062	24	2,086
留寿都村	14	75	230	328	157	323	44	149	1,320	10	1,330
喜茂別町	83	302	359	467	352	600	575	164	2,902	35	2,937
京極町	60	159	222	436	255	657	678	101	2,568	21	2,589
倶知安町	701	708	873	2,754	905	2,117	992	975	10,025	143	10,168
共和町	129	327	471	1,167	692	1,144	574	302	4,806	33	4,839
岩内町	375	1,078	1,069	2,583	1,262	1,896	1,724	1,407	11,394	56	11,450
泊村	27	197	197	266	181	585	162	288	1,903	19	1,922
神恵内村	33	148	193	351	221	153	164	52	1,315	4	1,319
積丹町	74	233	295	431	340	538	1,137	120	3,168	23	3,191
古平町	53	245	60	322	219	274	2,551	122	3,846	33	3,879
仁木町	308	232	401	763	275	601	639	311	3,530	15	3,545
余市町	497	1,071	822	2,733	1,144	2,393	3,456	1,589	13,705	77	13,782
赤井川村	14	87	76	224	78	195	265	136	1,075	12	1,087
後志支庁計	2,951	6,282	7,475	16,292	8,201	16,384	14,988	7,145	79,728	519	80,347
支庁計	4,081	8,710	12,154	20,303	12,411	21,323	18,715	9,721	107,418	802	108,220
合計	55,853	85,978	100,931	142,641	111,244	115,536	71,189	119,946	803,318	5,469	808,787

第 2 区 (定員 4 人)

届出番号	1	2	3	4	5	6	7	8	健	無効投票	有効投票	合 計
氏 名	芳 賀 貢 (社会前)	佐々木秀世 (自民前)	松浦周太郎 (自民前)	村上 茂利 (自民新)	上草 義輝 (無所属新)	高橋 敏男 (共産新)	安井 吉典 (社会前)	大矢 健 (無所属新)				
市町村名	旭川市	留萌市	稚内市	士別市	名寄市	富良野市	市 計					
	20,891	35,485	17,656	16,047	7,200	12,058	32,293	11,039	152,669	755	153,424	
	2,492	2,514	2,297	2,817	4,517	865	3,120	769	19,391	183	19,574	
	4,530	3,794	4,477	5,500	942	1,677	4,182	1,071	26,173	188	26,361	
	5,141	1,962	3,187	1,624	861	778	1,571	1,947	17,071	111	17,182	
	4,117	2,205	4,108	2,777	589	1,018	2,753	722	18,289	158	18,447	
	3,540	1,980	3,198	1,008	1,223	1,347	2,850	816	15,962	134	16,096	
	40,711	47,940	34,923	29,773	15,332	17,743	46,769	16,364	249,555	1,529	251,084	
鷹 栖 町	454	1,626	536	202	89	366	742	281	4,296	45	4,341	
東 神 楽 町	38	210	236	69	30	69	2,580	104	3,336	24	3,360	
当 麻 町	786	833	594	1,526	305	187	716	867	5,814	53	5,867	
比 布 町	672	667	649	321	75	290	771	275	3,720	11	3,731	
愛 別 町	733	960	589	560	137	119	490	346	3,934	30	3,964	
上 川 町	1,817	1,093	288	545	66	248	1,479	172	5,708	28	5,736	
東 川 町	158	625	723	363	90	179	1,813	569	4,520	26	4,546	
美 瑛 町	1,627	1,278	1,839	743	154	484	2,103	1,222	9,450	82	9,532	
上 富 良 野 町	964	1,767	1,310	1,511	312	202	1,080	1,140	8,286	112	8,398	
中 富 良 野 町	819	1,535	649	447	109	163	556	214	4,492	29	4,521	
南 富 良 野 町	1,289	268	401	286	73	125	613	165	3,220	21	3,241	
占 冠 村	294	162	205	35	28	30	268	28	1,050	14	1,064	
和 寒 町	1,232	751	1,034	570	281	228	165	226	4,487	39	4,526	
剣 淵 町	2,229	392	448	74	60	212	83	152	3,650	39	3,689	
朝 日 町	1,107	426	400	63	122	51	203	116	2,488	9	2,497	
風 連 町	840	397	1,981	505	51	180	378	302	4,634	35	4,669	

下川町	1,583	1,128	645	297	134	144	1,544	337	5,812	66	5,878
美深町	780	119	4,093	142	77	274	533	76	6,094	43	6,137
首威子府村	492	90	333	74	19	38	321	78	1,445	12	1,457
中川町	702	214	823	127	28	126	258	69	2,347	9	2,356
上川支庁計	18,616	14,541	17,776	8,460	2,240	3,715	16,696	6,739	88,783	727	89,510
増毛町	585	1,167	504	670	1,073	203	962	397	5,561	73	5,634
小平町	768	279	618	502	1,651	88	329	182	4,417	43	3,460
苫前町	883	534	850	752	437	235	351	379	4,421	57	4,478
羽幌町	1,280	2,237	1,677	952	327	360	854	559	8,246	53	8,299
初山別村	371	247	438	205	68	36	169	76	1,610	14	1,624
遠別町	371	446	539	736	210	160	333	115	3,410	28	3,438
天塩町	668	448	1,194	482	138	257	311	193	3,691	25	3,716
幌延町	606	473	609	126	88	168	257	149	2,476	37	2,513
留萌支庁計	6,032	5,831	6,429	4,425	3,892	1,057	3,566	2,050	33,832	330	34,162
猿払村	477	363	591	170	29	122	315	36	2,103	23	2,126
浜頓別町	1,373	619	504	238	56	306	601	176	3,873	28	3,901
中頓別町	846	303	575	129	36	239	332	196	2,656	17	2,673
枝幸町	1,077	1,362	1,002	915	53	495	477	222	5,603	33	5,636
歌登町	582	500	582	106	17	132	416	39	2,374	17	2,391
豊富町	761	1,018	468	524	264	352	353	175	3,915	39	3,954
礼文町	272	709	629	706	198	89	172	153	2,928	21	2,949
利尻町	284	321	685	524	341	112	200	483	2,950	27	2,977
東利尻町	376	486	661	777	161	152	139	350	3,102	39	3,141
宗谷支庁計	6,048	5,681	5,697	4,089	1,155	1,999	3,005	1,830	29,504	244	29,748
支庁計	30,696	26,053	29,902	16,974	7,887	7,221	23,267	10,619	152,119	1,301	153,420
合 計	71,407	73,993	64,825	46,747	22,719	24,984	70,036	26,983	401,674	2,830	404,504

第 3 区 (定員 3 人)

届出番号	1	2	3	4	5	有効投票	無効投票	合 計
氏名	佐藤 孝行 (自民前)	田中 正巳 (自民前)	塚田 庄平 (社会新)	阿部 文男 (自民前)	清野 清 (共産新)			
市町村名								
函 館 市	20,802	25,716	35,396	23,187	15,771	120,872	455	121,327
亀 田 市	4,708	4,277	10,604	5,697	3,815	29,101	110	29,211
市 計	25,510	29,993	46,000	28,884	19,586	149,973	565	150,538
松 前 町	2,917	3,094	1,142	1,590	476	9,219	84	9,303
福 島 町	1,598	1,400	833	1,537	254	5,622	61	5,683
知 内 町	1,041	1,082	637	955	131	3,846	43	3,889
木 古 内 町	1,062	1,218	1,560	974	459	5,273	35	5,308
上 磯 町	2,249	2,944	4,740	2,098	1,382	13,413	93	13,506
大 野 町	1,004	1,656	1,178	1,261	309	5,408	47	5,455
七 飯 町	2,169	2,228	2,902	1,565	610	9,474	62	9,536
戸 井 町	1,566	431	322	959	87	3,365	33	3,398
尻 岸 内 町	2,073	632	379	887	169	4,140	35	4,175
根 法 華 村	267	568	108	443	90	1,476	7	1,483
南 茅 部 町	2,683	840	667	1,734	152	6,076	42	6,118
鹿 部 村	1,095	216	396	684	68	2,459	12	2,471
砂 原 町	994	835	477	851	87	3,244	27	3,271



森 町	2,856	1,581	2,249	1,787	494	8,967	94	9,061
八 雲 町	2,633	1,903	2,864	2,210	947	10,557	95	10,652
長 万 部 町	1,129	1,209	2,670	1,243	995	7,246	45	7,291
渡 島 支 庁 計	27,386	21,837	23,124	20,778	6,710	99,785	815	100,600
江 差 町	1,897	1,405	2,178	1,158	760	7,398	35	7,433
上 ノ 國 町	1,374	1,093	1,249	1,021	633	5,370	37	5,407
厚 沢 部 町	746	1,957	859	593	179	4,334	17	4,351
乙 部 町	1,663	528	620	733	416	3,960	16	3,976
熊 石 町	554	890	706	782	236	3,168	19	3,187
大 成 町	1,069	586	323	489	289	2,756	19	2,775
奥 尻 町	1,102	785	309	1,226	55	3,477	16	3,493
瀬 棚 町	941	595	413	304	202	2,455	9	2,464
北 檜 山 町	2,886	387	953	343	388	4,957	17	4,974
今 金 町	1,381	989	1,412	1,226	410	5,418	27	5,445
桧 山 支 庁 計	13,613	9,215	9,022	7,875	3,568	43,293	212	43,505
支 庁 計	40,949	31,052	32,146	28,653	10,278	143,078	1,027	144,105
合 計	66,459	61,045	78,146	57,537	29,864	293,051	1,592	294,643

第4区 (定員5人)

市町村名	氏名	1	2	3	4	5	6	7	8	有効投票	無効投票	合計
小平	忠	5,034	11,264	12,683	6,168	4,069	34,214	8,941	1,320	83,693	488	84,181
室蘭市	張	1,241	5,199	550	16,262	3,034	1,339	3,985	2,522	34,132	280	34,512
岩見沢市	沢	8,675	3,719	1,053	10,283	2,227	3,862	2,764	3,329	35,912	249	36,161
苫小牧市	小牧	4,317	7,743	1,889	14,640	2,872	2,621	6,798	16,610	57,490	384	57,874
美唄市	唄	3,027	2,684	346	6,946	507	2,007	2,361	4,342	22,170	189	22,359
芦別市	別	1,886	2,321	6,781	1,550	836	2,423	2,806	2,493	21,046	208	21,254
赤平市	平	718	2,285	5,394	1,652	454	2,277	2,381	1,847	17,008	83	17,091
三笠市	笠	1,170	1,960	478	7,398	1,009	797	1,652	1,499	15,963	178	16,146
滝川市	川	2,770	2,388	5,846	1,696	2,457	4,222	2,182	3,239	24,800	181	24,981
砂川市	川	1,495	1,630	5,022	581	629	1,861	1,500	1,079	13,807	62	13,869
歌志内市	内	171	1,228	2,537	606	246	675	937	1,190	7,590	78	7,668
深川市	川	2,656	2,174	4,506	622	1,066	4,130	1,462	3,798	20,414	98	20,512
登別市	別	1,039	3,282	5,102	1,815	1,187	7,675	2,951	1,569	24,620	131	24,751
伊達市	達	1,103	1,799	2,496	1,132	743	5,251	1,823	2,274	16,621	109	16,730
市計		35,302	49,676	54,633	71,361	21,336	73,354	42,493	47,111	395,266	2,763	398,029
北村		2,214	113	21	413	164	271	157	193	3,546	22	3,568
栗沢町		2,746	456	79	2,204	303	676	458	800	7,722	107	7,829
南幌町		1,668	128	36	413	233	415	210	433	3,536	26	3,562
奈井江町		1,022	749	932	391	223	695	487	874	5,373	54	5,427
上砂川町		458	1,121	3,517	755	166	688	1,078	682	8,465	50	8,515
由仁町		1,505	240	58	1,303	540	966	352	964	5,928	45	5,973
長沼町		2,386	544	103	1,191	1,147	1,305	396	1,089	8,161	80	8,241
栗山町		3,176	850	142	2,459	1,034	1,023	762	1,193	10,639	112	10,751
月形町		942	157	55	619	261	669	272	812	3,787	39	3,826
浦臼町		704	172	66	339	159	474	211	422	2,547	10	2,557
新十津川町		1,852	286	803	237	371	776	375	1,130	5,830	47	5,877
妹背牛町		516	366	501	100	157	1,201	238	1,113	4,192	31	4,223

秩父別町	721	213	349	59	126	367	157	844	2,836	11	2,847
雨竜町	503	59	385	42	121	529	169	897	2,705	14	2,719
北竜町	976	99	319	61	95	580	69	234	2,433	43	2,476
沼田町	1,320	348	516	129	126	638	306	956	4,339	15	4,354
幌加内町	676	126	754	58	135	264	172	751	2,936	17	2,953
空知支庁計	23,385	6,027	8,636	10,773	5,361	11,537	5,869	13,387	84,975	723	85,698
豊浦町	448	408	446	148	253	1,045	477	652	3,877	33	3,910
虻田町	472	436	1,187	423	287	1,536	1,089	1,210	6,640	35	6,675
洞爺村	233	105	130	77	56	473	123	427	1,624	18	1,642
大滝村	81	29	93	37	18	229	165	142	794	10	804
壮瞥町	334	156	429	149	161	550	406	451	2,636	34	2,670
白老町	667	1,517	1,053	942	412	1,473	1,491	3,366	10,921	52	10,973
早来町	385	260	69	767	192	735	238	933	3,579	20	3,599
追分町	393	585	56	1,272	135	363	143	315	3,262	23	3,285
厚真町	632	341	652	165	502	764	223	1,077	4,356	25	4,381
鶴川町	837	558	547	257	182	1,200	453	875	4,909	41	4,950
穂別町	685	302	500	158	328	349	336	607	3,275	31	3,306
胆振支庁計	5,167	4,697	5,162	4,395	2,526	8,717	5,154	10,055	45,873	322	46,195
日高町	161	308	40	590	69	437	207	425	2,237	28	2,265
取手町	831	215	69	1,647	206	912	416	778	5,074	52	5,126
門別町	1,074	781	150	1,530	532	1,488	648	1,663	7,865	79	7,944
新冠町	355	261	71	933	411	752	548	897	4,228	55	4,283
静内町	907	1,051	248	3,009	568	2,621	1,372	2,226	12,002	115	12,117
三石町	792	209	60	845	335	823	341	950	4,355	50	4,405
河内町	668	1,985	218	2,638	408	2,390	1,031	1,715	11,053	142	11,195
浦似町	437	597	52	958	276	835	344	1,305	4,804	34	4,838
えりも町	182	266	29	982	484	625	460	1,257	4,285	56	4,341
日高支庁計	5,407	5,673	937	13,132	3,288	10,883	5,367	11,216	55,903	611	56,514
支庁計	33,959	16,397	14,735	28,300	11,175	31,137	16,390	34,658	186,751	1,656	188,407
合計	69,261	66,073	69,368	99,661	32,511	104,491	58,883	81,769	582,017	4,419	586,436

第5区 (定員5人)

市町村名	氏名	届出番号	1	2	3	4	5	6	7	有効投票	無効投票	合計
島田	たかくらう	(社会新)	1,566	12,134	8,657	7,783	43,126	1,293	17,990	92,549	1,093	93,552
市	八木沢藤吉	(共産新)	809	5,578	1,384	18,236	1,244	24,199	14,994	66,444	321	66,765
市	安田 貴六	(自民前)	18,270	2,672	16,830	2,398	773	381	4,516	45,840	255	46,095
市	本名 武	(自民前)	7,744	1,916	5,940	2,050	656	456	2,871	21,633	162	21,795
市	岡田 利春	(社会前)	6,607	1,062	5,909	1,845	506	97	1,705	17,731	140	17,871
市	中川 一郎	(自民前)	377	1,299	2,060	3,418	5,391	334	3,674	16,553	248	16,801
市	政市	(社会前)	35,373	24,661	40,780	35,730	51,696	26,760	45,750	260,750	2,129	262,879
市	計											
東	琴別		719	80	770	113	26	45	267	2,020	27	2,047
女	溝別		1,137	116	1,377	378	77	62	777	3,924	15	3,939
美	幌		4,560	485	3,164	1,402	313	179	3,479	13,582	122	13,704
津	別		3,129	297	1,021	986	135	59	1,049	6,576	31	6,707
斜	里		4,085	468	1,486	509	131	117	1,814	8,610	88	8,698
清	里		1,921	121	1,379	851	62	25	366	4,725	49	4,774
小	清水		2,185	357	925	629	64	68	585	4,813	29	4,842
端	野		1,002	132	1,541	81	36	14	566	3,372	22	3,394
訓	子		1,282	334	2,072	197	182	48	533	4,648	32	4,680
置	戸		2,112	116	1,117	1,063	57	24	448	4,937	27	4,964
留	辺		4,031	288	2,161	1,158	114	77	903	8,732	31	8,763
佐	呂		2,600	282	2,165	129	49	42	688	5,955	47	6,002
常	間		1,155	100	1,844	175	55	37	416	3,782	30	3,812
生	田		1,161	88	758	492	24	21	180	2,724	7	2,731
遠	原		4,829	455	4,460	688	123	150	694	11,399	48	11,447
丸	瀬		1,437	87	879	106	20	30	200	2,759	17	2,776
白	布		747	37	550	10	4	10	310	1,668	12	1,680
上	滝		2,701	105	2,227	54	34	23	324	5,468	28	5,496
湧	別		2,223	56	1,602	142	25	21	388	4,457	22	4,479
滝	上		2,173	83	1,239	429	40	27	746	4,737	32	4,769
興	部		1,667	78	1,442	405	71	51	338	4,052	32	4,084
西	部		457	29	310	297	24	7	233	1,357	12	1,369
雄	武		1,278	202	1,214	286	46	117	959	4,102	37	4,139
網	走		48,591	4,396	35,703	10,580	1,712	1,254	16,263	118,499	797	119,296
支	行											

音上	173	952	144	3,799	244	4,883	3,594	13,789	73	13,862
士	33	398	11	1,013	43	1,295	1,483	4,276	30	4,306
幌	39	305	34	1,220	62	2,513	763	4,936	25	4,961
追	31	198	104	1,488	39	1,268	1,152	4,280	28	4,308
得	77	282	121	1,664	116	2,748	1,087	6,095	76	6,171
水	93	686	94	1,857	190	3,005	2,091	8,016	43	8,059
室	96	665	83	2,545	131	3,372	2,070	8,962	29	8,991
内	15	169	7	422	9	1,250	440	2,312	10	2,322
札	19	118	11	239	33	1,119	847	2,386	9	2,395
別	13	86	5	250	10	665	469	1,498	10	1,508
類	25	265	30	584	75	1,982	2,125	5,086	46	5,132
樹	49	365	41	333	118	1,419	3,942	6,267	28	6,295
尾	85	514	97	1,222	159	6,370	1,780	10,227	30	10,257
別	96	439	99	1,001	188	3,857	1,833	7,513	39	7,552
田	24	239	40	708	56	1,644	1,233	3,944	19	3,963
頃	111	251	185	1,786	162	3,124	2,536	8,155	39	8,194
別	115	310	240	1,895	148	3,380	2,129	8,217	33	8,250
寄	35	142	154	937	26	1,553	969	3,816	16	3,832
別	83	320	65	1,465	202	2,277	1,952	6,364	44	6,408
幌	1,212	6,704	1,565	24,428	2,011	47,724	32,495	116,139	827	116,766
十勝支庁計										
釧路	55	368	621	621	1,218	65	1,163	4,111	34	4,145
厚	109	782	437	1,309	2,093	155	3,404	8,289	76	8,365
浜	45	351	357	868	1,249	60	1,788	4,718	45	4,763
標	195	610	576	880	2,236	173	2,200	6,870	79	6,949
茶	169	330	712	1,208	2,148	143	1,434	6,144	78	6,222
子	75	180	776	658	1,440	73	1,087	4,289	65	4,354
阿寒	11	118	305	234	357	112	418	1,555	32	1,587
居	95	718	826	1,753	2,627	93	1,316	7,428	87	7,515
鶴	19	142	169	539	498	38	673	2,078	22	2,100
白	773	3,599	4,779	8,070	13,866	912	13,483	45,482	518	46,000
音										
釧路支庁計										
別	673	754	1,400	1,354	1,866	244	2,565	8,856	66	8,922
海	382	478	680	1,619	3,171	322	1,948	8,600	65	8,665
津	152	152	387	733	1,323	68	1,070	3,885	21	3,906
標	54	129	402	383	1,183	49	1,466	3,666	15	3,681
津	1,261	1,513	2,869	4,089	7,543	683	7,049	25,007	167	25,174
羅										
根室支庁計										
支	51,837	16,212	44,916	47,167	25,132	50,573	69,290	305,127	2,109	307,236
庁										
計	87,210	40,873	85,696	82,897	76,828	77,333	115,040	565,877	4,238	570,115
合										

## 第4回定例道議会において議決を経た条例の公布調

件 名	議決月日	公布月日	公 布 番 号
北海道学校職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	12. 13	12. 15	北海道条例第58号
市町村立学校職員給与負担法に規定する学校職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第59号
北海道恩給並びに他の地方公共団体の退職年金及び退職一時金の基礎となるべき在職期間と職員の退職料及び退職給与金の基礎となるべき在職期間との通算に関する条例等の一部を改正する条例	12. 22	12. 25	北海道条例第60号
北海道工業団地開発事業条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第61号
北海道公害紛争処理条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第62号
北海道保母修学資金貸付条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第63号
北海道立看護学院条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第64号
北海道工鉱業開発促進条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第65号
国営土地改良事業負担金徴収条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第66号
北海道立学校設置条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第67号
北海道公立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例等の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第68号
風俗営業等取締法施行条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第69号
漁業協同組合の整備促進助成等に関する条例を廃止する等の条例	同	同	北海道条例第70号

## 12月のメモ

- 1 ○東京高裁、辰野事件に無罪の判決。12被告、20年ぶり逆転判決、結審。  
○道東、道北地方に低気圧による被害。4万戸停電。
- 7 ○国鉄、新幹線建設基本構想まとめる。60年度まで6,000キロメートル。
- 8 ○道教委、「タンチョウヅル」の生息調査結果をまとめる。最高の222羽を確認、生息地広がる傾向。
- 10 ○第33回衆議院議員総選挙投票、新勢力分野決定。自民党271人、社会党118人、共産党38人、公明党29人、民社党19人、諸派2人、無所属14人（道内、自民11人、社会9人、共産1人、民社1人）。
- 12 ○国連総会本会議、国連大学の設立を決める決議案採択。  
○ジエトロ、「海外市場白書」を発表、秩序ある輸出の具体化必要。
- 13 ○中央公害審議会、「環境保全長期ビジョン」と題する中間報告をまとめ発表。60年の日本列島環境像、道内汚染は4倍に。  
○北海道議会、第4回定例会開会。会期10日間と決定。
- 14 ○広島高裁、仁保事件差戻し審一転無罪判決。
- 15 ○閣議、47年版「青少年問題の現状と対策」（青少年白書）を了承。立身より家庭づくり。
- 17 ○建設省、地方都市づくりのモデルをまとめる。集積拡充型と新都市建設型中核づくりと広域圏開発。
- 18 ○経済企画庁、円切上げ後の輸入品価格の追跡調査結果を発表。値下がり不十分。  
○ばんだい号事故調査委員会、事故原因の最終結論まとめ運輸相に提出。原因は空港位置誤認。  
○石狩炭鉱、全遺体確認、46日ぶり。
- 19 ○閣議、41年度厚生白書を了承。年金の不備認める。受給者少なく額低い。  
○閣議、「国土総合開発推進本部」の設置を決定。本部長首相、副本部長本名武氏。  
○第7次選挙制度審議会、現行制度の抜本的改革につき決定。小選挙区比例代表制を、定数520人に。  
○石狩湾新港建設に伴う漁業補償妥結。13億9,000万円。
- 20 ○最高裁、高田事件の原判決を破棄。控訴を棄却する判決。長期空白裁判のため免訴が確定。  
○雇用審議会、雇用対策基本5カ年計画案（47～51年度）をまとめ労相に答申。5年以内に週休2日制。  
○国税庁、地価の新評価額を発表。地方都市でも急上昇、札幌三越前坪250万円、全国8位。
- 21 ○ベルリン、東西ドイツの関係正常化の「基本条約」の本調印が行なわれる。  
○環境庁、PCB汚染実態調査の結果をまとめ発表。PCB、列島を総汚染、魚介類はほとんど。  
○総理府統計局、全国物価統計調査結果を発表。大都市では食料、住居が高い。  
○道財務局、「本道経済の回顧と展望」を発表。開発計画の再検討提言。
- 22 ○第71回特別国会召集。衆議院議長中村梅吉氏、副議長秋田大助氏を選任。第2次田中内閣発足。北海道開発庁長官江崎真澄氏。  
○閣議、46年度国民所得統計を了承、国民1人当たり62万6,000円。  
○北海道議会、第4回定例会開会。
- 25 ○通産省、47年版「電気事業の現状」（電力白書）を発表。電力不足に強い危機感。  
○経済企画庁、「47年経済の回顧と課題」を発表。福祉経済の定着図れ。
- 26 ○環境庁、46年度の全国大気汚染状況調査の結果を発表。いおう酸化物減る。
- 27 ○人事院、寒冷手当の北海道加算額の引上げを勧告。甲地7,000円、乙地3,500円引上げ。  
○厚生省、各種年金の大幅改善について政府案を決定。厚生年金27年で5万円、国民年金は25年。  
○建設省、新国土建設長期構想を発表。1人1室を確保。

## 北海道の珍しい鳥類

名 称	生 息 地	生息期間	生 息 状 況
オオミズナギドリ	松 前 町、大 島	4月～9月	4月下旬ころから数万羽も飛来、群居し、5月下旬産卵、10月遠く飛び去る、天然記念物、
コウライキジ	日高地方をはじめ道南、道央に多い。	年 間	道内にはキジが生息していないので、昭和5年日高地方に放鳥、増殖した、全道捕獲禁止。
ホシガラス	道 内 の 山 地	同	はい松地帯に多く、冬には平地に降りてくる。
オオルリ	豊富町宇稚岫内	5月～11月	原野に群せいする。
コマドリ	利尻、礼文島、大雪山等に多い。	6月～9月	水流のある林地にすむ。
タンチョウ	釧路、根室支庁管内	年 間	特別天然記念物に指定されている。春から秋にかけて原野の繁殖地付近に営巣、育雛し、初冬から初春にかけて、阿寒川、舌辛川の上流、阿寒湖に至る国道沿いに生息する。発見された当時は数羽であったが、現在は220羽を越えている。これは冬期間の供餌が成功したためである。阿寒に向かう途中、阿寒川自然公園があり、タンチョウの生態を見ることが出来る。
オオハクチョウ	風 蓮 湖	10月上旬～3月下旬	10月初旬シベリア方面から飛来、その数毎年1万羽に近い。12月に湖が凍結すると尾岱沼に移るものと道内各地に分散するものとする。
同	尾 岱 沼、野 付 湾	10月上旬～4月下旬	風蓮湖とともに著名な渡来地で、この2地方のオオハクチョウと時により混在している。
同	ト ウ フ ツ 湖	3月～5月	渡来期と帰還期に特に多い、1,000羽に近いこともある。
同	ウ ト ナ イ 湖	9月～11月	秋の終りと春のはじめに数百羽の渡来がみられる。
エトピリカ	根室のモユルリ島 厚岸湾の大黒島	4月～9月	繁殖地として南限にあたり、天然記念物、
コシジロウミツバメ	大 黒 島	4月～9月	ツバメに似た海鳥で数千羽が穴を掘り、営巣する、天然記念物、
ア オ サ ギ	とうふつ湖、能取湖、釧路原野、江別市野幌	5月～9月	樹木上に数百羽が営巣。
オジロワシ	知 床 半 島	年 間	知床半島にわずかであるが営巣。
ウ ミ ウ	斜里町岩尾別東部岩壁	年 間	知床半島断崖一帯に群せい、繁殖、
ウミガラス	天 壳 島	4月～9月初旬	西端赤岩をはじめ各所の岩上又は断崖上に生息している。
ウ ト ウ	同	年 間	本島の北西部の海岸の絶壁上に営巣する、巣は柔い土地に穴を掘ってつくる。
ウミネコ	同	同	ウミネコは草生地、ケイマブリは波打ぎわの岩穴に巣をつくる、天壳島の海鳥は天然記念物となっている。



北海道議会時報 第25巻第1号 編集 北海道議会事務局調査課

昭和48年1月20日発行 昭和48年1月 発行 北海道議会事務局  
北海道議会時報第25巻第1号(昭和47年第4回定例道議会)